

目黒区美術館 年報 平成6年度

目黒区美術館 年報
平成6年度

目次

I. 展覧会	4
II. 教育普及	44
III. 入館状況	48
IV. 作品収集	49
V. 作品等貸出	50
VI. 刊行	57
VII. 区民ギャラリー	58
VIII. ボランティア	60
IX. 名簿	61
X. 施設	62
XI. 沿革	63
XII. 案内	63

企画展

フランク・シャーマンと戦後の日本人画家・文化人たち

会期：1994(平成6)年4月20日—5月29日 (35日間)

会場：展示室A, ワークシップ, エントランスホール

主催：目黒区美術館

協賛：アートテック株式会社

企画協力：米倉守, 河村泳静, 三好寛佳

担当学芸員：矢内みどり

同時開催：小企画展「パリの日本人画家 1920年代を中心に」・所蔵作品展「レオナルド・フジタ」

本展は、第二次大戦後、米国進駐軍の民政官として来日、一時は凸版印刷板橋工場内にオフィスをかまえ、広報印刷物にたずさわっていた(1945-1957年在職)フランク・エドワード・シャーマン(1917年米国ボストン生まれ、1991年韓国ソウルで没)が日本で出会った画家をはじめとする文化人たちとの交流を、その作品コレクションや自ら撮影した多くの写真によって明らかにし、戦後の文化状況の一面を捉えようとしたものである。

●カタログ

寸法：29.7×23.0cm

ページ数：76ページ

内容：ごあいさつ(加藤貞雄)/SHERMANが見たもう一つの戦後の洋画史—朝日見/ふたつの視覚—米倉守/シャーマン・コレクションの変遷とレオナルド・フジター—矢内みどり/図版/出品目録/作家解説/フランク・E・シャーマン回顧談抄録/参考文献

●ポスター

サイズ：B2, B3

●チラシ

サイズ：B5

●主要関連記事

GHQに日本美術 “守護神”◇民政官シャーマン旧蔵品の展覧会を開催 矢内みどり 日本経済新聞 1994年4月19日

フランク・シャーマンと戦後の日本人画家・文化人たち 三田晴夫 BT 1994年4月号



会場風景



B2ポスター

出品目録

No.	作家	作品名	制作年	素材, 技法	寸法(cm)
1	巖 嘔	枯葉	1957	石版	28.9×45.5
2	巖 嘔	女の顔	1957	石版	44.3×29.6
3	巖 嘔	中間子炉	1957	石版	29.5×43.4
4	巖 嘔	群集(灰色)	1957	石版	38.5×24.3
5	巖 嘔	アダムとイブ	1957	石版	39.5×54.2
6	巖 嘔	ジャイアンツ	1957	石版	55.4×40.4
7	巖 嘔	鉄骨・ウインチ・2人	1957	石版	39.7×52.8
8	朝井 清	広島の夕焼	1945	木版	29.8×44.7
9	旭 正秀	冬のエッフェル塔(巴里)	1932/1937	リトグラフ	23.8×15.9
10	旭 正秀	ピサの斜塔春景(伊太利)	1932/1937	リトグラフ	22.2×16.0
11	哇地梅太郎	石槌山	1936	木版	27.0×36.3
12	哇地梅太郎	荒船山	1940	木版	35.6×45.7
13	一原有徳	轉	1959	石版モノタイプ	40.0×66.0
14	猪熊弦一郎	作品	不詳	リトグラフ	25.0×17.6
15	猪熊弦一郎	妻の顔	不詳	油彩, 画布	24.0×19.0
16	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より1	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
17	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より2	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
18	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より3	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
19	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より4	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
20	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より5	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
21	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より6	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
22	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より7	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
23	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より8	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
24	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より9	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
25	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より10	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
26	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より11	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
27	猪熊弦一郎	「バステル風景画集」より12	1939	リトグラフ, 手彩色	33.2×49.1
28	猪熊弦一郎	S FUMI Guén	不詳	木版	53.0×17.5
29	伊原宇三郎	フランク・シャーマン像	1950	油彩, 画布	46.0×38.0
30	伊原通夫	伊原通夫作品展 ポスター	1955	シルクスクリーン	38.2×53.0
31	瑛 九	ピエロ	1957	石版	41.0×27.0
32	大田耕士	フランク・シャーマン像	1945	木版	11.6×10.5
33	大田耕士	北朝鮮の河	1946	木版	42.8×48.5
34	岡田謙三	作品	不詳	墨	23.6×35.8
35	織田一磨	シネマ銀座(画集銀座の内)	1929	石版	27.0×17.6
36	織田広喜	女	1950	水彩	25.5×18.0
37	恩地孝四郎	失題	不詳	木版	52.5×46.0
38	恩地孝四郎	帯	1930	木版	31.5×23.3
39	北岡文雄	北海道の漁村	1958	シルクスクリーン	35.0×59.2
40	北岡文雄	海辺の流木	1960	木版	54.3×36.0
41	国吉康雄	作品	1950	墨	23.3×34.6
42	小磯良平	二人の女	1955	石版	62.2×48.5
43	小林ドンゲ	夜の蝶	1955	エッチング, アクアチント, ビュラン	24.4×21.0
44	駒井哲郎	樹木 ルドンの素描による	1956	エッチング	23.3×20.1
45	駒井哲郎	思い出	1948	ソフトグラウンドエッチング, ドライポイント	22.5×19.3
46	アレグザンダー・コールド	作品	1976頃	リトグラフ	66.0×99.4
47	澤田哲郎	藤田嗣治像	1942	油彩, 画布	15.0×26.5
48	澤田哲郎	海辺	1962	油彩, 画布	130.0×89.3
49	澤田哲郎	シベリアの寒村	1947	油彩, 画布	38.1×40.7
50	篠原有司男	TEKAGAMI	1965	シルクスクリーン	59.0×50.0

No.	作家	作品名	制作年	素材, 技法	寸法(cm)
51	篠原有司男	TIGER	1970	シルクスクリーン	70.0×56.0
52	篠原有司男	PLUM-TREE	1970	シルクスクリーン	38.5×38.5
53	篠原有司男	GIRL AND FROG	1970	シルクスクリーン	
54	ベン・シャーン	盲目の植物学者	1961	セリグラフ	67.0×51.2
55	菅野圭介	風景	不詳	油彩, 板	23.3×32.4
56	関野準一郎	鯖	1948	木版	27.8×42.5
57	関野準一郎	栄三と松王丸	1953	木版	48.0×63.0
58	関野準一郎	フランク・チャーマン像	1947	木版	38.8×27.7
59	関野準一郎	如何なる星の下に	1945	木版	46.0×36.0
60	関野準一郎	肴倉弥八の母	1938	木版	36.0×30.0
61	東郷青児	まんと	1940頃	リトグラフ	27.5×19.0
62	東郷青児	「少女四季」より冬	1940頃	木版(多色刷)	44.8×32.0
63	東郷青児	「少女四季」より春	1940頃	木版(多色刷)	44.8×32.0
64	利根山光人	子供のいる風景	1956	リトグラフ	42.5×56.0
65	利根山光人	塵のごとく	1956	リトグラフ	41.0×51.0
66	利根山光人	黒い花	1956	リトグラフ	39.5×53.0
67	戸張孤雁	臥裸婦	1917	木版	30.0×43.0
68	中川紀元	藤田嗣治像	不詳	墨, 淡彩	31.0×20.0
69	中川紀元	チャーマン像	不詳	墨, 淡彩	30.2×21.5
70	中川紀元	フランク・チャーマン像	不詳	墨, 淡彩	30.2×22.0
71	中村直人	作品	不詳	木版	27.0×28.0
72	中村直人	作品	不詳	木版	33.5×24.0
73	イサム・ノグチ	作品	不詳	墨, 銀泥	22.5×16.5
74	野口弥太郎	洗濯女	不詳	水彩	23.5×35.5
75	平木政次	榛名山 天神峠ヨリ伊香保富士ヲ望	1895	水彩	25.0×38.0
76	福井良之助	樹木	1960	孔版	10.0×6.0
77	福井良之助	かたつむり	1957	孔版	12.8×9.0
78	前田青邨	画稿(蜻蛉・蟬)	不詳	墨・淡彩	15.0×27.8
79	松本竣介	作品	1947	インク, 墨, 淡彩	35.0×24.5
80	向井潤吉	白川村の民家	1955頃	鉛筆, 淡彩	23.7×35.6
81	棟方志功	庭前柏 樹子	不詳	墨	23.6×36.0
82	吉岡憲	作品	不詳	鉛筆, 淡彩	11.6×9.8
83	吉岡堅二	ポイテンゾルグ	1942	鉛筆, 淡彩	30.0×57.0
84	脇田 和	放鳥	1953	水彩	23.7×35.4
85	脇田 和	少女と鯉	不詳	リトグラフ	22.8×30.8
86	脇田 和	トレド	1959	水彩	39.0×54.5
87	脇田 和	女	1936	油彩, 画布	45.5×38.0

小企画展

パリの日本人画家 1920年代を中心に

会期：1994(平成6)年4月20日—5月29日 (35日間)

会場：展示室C, ワークシップ

主催：目黒区美術館

担当学芸員：矢内みどり

同時開催：企画展「フランク・シャーマンと戦後の日本人画家・文化人たち」・所蔵作品展「レオナルド・フジタ」

小企画展では、1920年ごろのパリに世界各国から多くの芸術家たちが集まり、自由の空気と先端的な芸術運動が生む文化的環境を享受していた中で、日本人画家の中心的な存在であったフジタから有形、無形の影響を受けながらも独自の世界を切り開いた川島理一郎、岡鹿之助、板東敏雄、小柳正、高野三三男などの作品32点を展示した。

●カタログ

寸法：29.7×22.5cm

ページ数：32ページ

内容：ごあいさつ(加藤貞雄)／図版／パリの日本人画家 1920年代を中心に—レオナルド・フジタをめぐる(矢内みどり)／作品リスト

●主要関連記事

フランク・シャーマンと戦後の日本人画家・文化人たち 三田晴夫 BT 1994年4月号



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材, 技法	寸法	所蔵先
1	川島理一郎	パリ セーヌ河畔	1926	油彩, キャンヴァス	31.8×40.9	栃木県立美術館
2	川島理一郎	絵日記	1915	水彩, インク, 紙	18×22.5	栃木県立美術館
3	川島理一郎	絵日記	1915	水彩, インク, 紙	18×22.5	栃木県立美術館
4	川島理一郎	絵日記	1915	水彩, インク, 紙	18×22.5	栃木県立美術館
5	川島理一郎	絵日記	1915	水彩, インク, 紙	18×22.5	栃木県立美術館
6	川島理一郎	絵日記	1915	水彩, インク, 紙	18×22.5	栃木県立美術館
7	田中 保	金髪の裸婦	1920/30	油彩, キャンヴァス	88.5×91.2	目黒区美術館
8	田中 保	裸婦(海辺)	年代不詳	油彩, キャンヴァス	99×62.5	ユミ・コレクション
9	長谷川潔	奇術(1)	1925	ドライポイント	11.6×18.0	目黒区美術館
10	長谷川潔	古村(シャトーアルヌー)	1927	ドライポイント	19.5×27.5	目黒区美術館
11	長谷川潔	サン・ポール・ド・ヴァンスの村	1929	メゾチント	13.7×17.8	目黒区美術館
12	長谷川潔	コップのダリア	1930	メゾチント	23.8×18.7	目黒区美術館
13	長谷川潔	コップに挿した種子草(秋)	1931	ドライポイント	24.8×20.7	目黒区美術館
14	板東敏雄	自画像	年代不詳	油彩, キャンヴァス	27.2×22	栃木県立美術館
15	板東敏雄	風景	年代不詳	油彩, キャンヴァス	22×27.2	栃木県立美術館
16	板東敏雄	静物	年代不詳	油彩, キャンヴァス	24×33.2	目黒区美術館
17	板東敏雄	猫	年代不詳	銅版, 絹, 手彩色	33.5×24.5	ユミ・コレクション
18	板東敏雄	犬	年代不詳	銅版, 絹, 手彩色	24.5×34.5	ユミ・コレクション
19	小柳正	仮面舞踏会	年代不詳	油彩, キャンヴァス	91×70.0	個人蔵
20	小柳正	猫のいる婦人像	年代不詳	油彩, キャンヴァス	81×100	ユミ・コレクション
21	小柳正	花籠	年代不詳	油彩, キャンヴァス	65×81	個人蔵
22	小柳正	長椅子の裸婦	年代不詳	油彩, キャンヴァス	73×116	ユミ・コレクション
23	小柳正	犬	1932	油彩, キャンヴァス	46.2×61.5	ユミ・コレクション
24	小柳正	くじゃく	年代不詳	油彩, キャンヴァス	115.5×72.8	ユミ・コレクション
25	小柳正	モンパルナスのキキ	年代不詳	油彩, キャンヴァス	33×41	ユミ・コレクション
26	岡鹿之助	信号台	1926	油彩, キャンヴァス	45.7×53.2	目黒区美術館
27	高野三三男	仮装したS夫人像	1928/29	油彩, キャンヴァス	96.8×128.4	個人蔵
28	高野三三男	少女	1929頃	油彩, キャンヴァス	28×22	個人蔵
29	高野三三男	調髪	1930	油彩, キャンヴァス	90.5×64.5	個人蔵
30	高野三三男	パリ風景(シャンゼリゼ)	年代不詳	水彩, 紙	48.2×62.5	個人蔵
31	高野三三男	ヴァイオリンのある静物	1937頃	油彩, キャンヴァス	65.5×80.5	個人蔵
32	高野三三男	婦人の顔	1927	水彩, 紙	50.4×34	個人蔵

所蔵作品展

レオナール・フジタ

会期：1994(平成6)年4月20日—5月29日 (35日間)

会場：展示室B, 展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：矢内みどり

同時開催：企画展「フランク・シャーマンと戦後の日本人画家・文化人たち」・小企画展「パリの日本人画家 1920年代を中心に」

同時開催の「フランク・シャーマン」展, 「パリの日本人画家」展の中心的存在でもあるレオナール・フジタ(1886—1968)の当館所蔵作品から, 旧シャーマンコレクションを展示した。

●主要関連記事

フランク・シャーマンと戦後の日本人画家・文化人たち 三田晴

夫 BT 1994年4月号



会場風景

出品目録

No.	作品名	制作年	素材, 技法	寸法(cm)
1	動物群	1924	油彩, キャンバス	97.0×145.5
2	赤毛の女	1917	水彩, 紙	26.5×20.0
3	鶴	c.1918	水彩, 金箔, 紙	20.0×17.0
4	レスリング	1927	鉛筆, 紙	60.0×122.0
5	メキシコの少年	1933	水彩, 紙	93.5×61.0
6	殉教者	1934	水彩, 金箔, 紙	51.0×32.0
7	房州白浜にて	1935	水彩, 紙	34.5×28.5
8	君代のプロフィール	c.1938	水彩, 紙	23.0×18.5
9	人形を持った少女	1951	水彩, 紙	21.5×16.0
10	芸者と泥棒	年代不詳	水彩, 紙	34.0×41.0
11	小鳥と少女	年代不詳	インク, 紙	16.5×9.5
12	シェロン氏像	1917	コンテ, 紙	30.5×23.5
13	裸婦(キキ・ド・モンパルナス)	1929	鉛筆, 紙	71.5×128.5
14	少女	年代不詳	鉛筆, 紙	42.5×23.0
15	カフェ・ドゥ・ラ・ロンド	1925	銅版	19.0×14.5
16	静物(インク壺)	c.1926	銅版	27.0×34.5
17	静物(糸巻)	c.1929	銅版	27.5×34.5
18	少年像	c.1929	銅版	34.5×24.5
19	立っている裸婦	1920/29	銅版	56.0×37.0
20	横たわる裸婦	1920/29	銅版	37.0×56.0
21	猫のいる自画像	c.1926	ドライポイント	32.5×24.5
22	裸婦と猫	1920/29	エッチング	44.5×34.5
23	二匹の猫	1931	リトグラフ	27.0×37.5
24	裸婦	1925	リトグラフ	43.0×33.0
25	自画像	c.1934	木版	21.5×15.5
26	人形	1946	木版	23.0×17.0
27	グッバイ・ニューヨーク	1950	木版, コラージュ	21.5×22.0
28	顔(8枚組絵皿)	1947	陶器	各直径23.0
29	エッフェル塔(皿)	1947	陶器	直径30.5
30	アダムとイヴ(皿)	1947	陶器	直径30.5
31	燭台女(壺)	1947	陶器	直径15.5×高さ25.5
32	猫とネズミ(皿)	1947	陶器	20.0×33.0×6.0
33	キス・ミー(人形, 頭)	1946	彩色, 木	8.5×19.0×4.5
34	キス・ミー(人形, 全身)	1946	彩色, 木	24.5×16.0×4.5
35	円形テーブル	年代不詳	象がん, 木	直径50.5×高さ60.0
36	ポスター マドレーヌ	1936	オフセット印刷, 彩色	85.0×52.5
37	ポスター 現代画家展(ギャラリー・ドゥ・ロテル・デュ・パルク)	1956	リトグラフ	61.5×44.0
38	ポスター 時代の証人・画家展(ガリエラ美術館)	1960	リトグラフ	72.5×47.5
39	ポスター フジタ展(ペトリデス画廊)	1964	リトグラフ	67.0×48.4
40	トランク(遺品)			40.5×65.6×22.5
41	シャーマン氏像			

●葉書(澤鑿治宛)

1905年3月23日から1906年2月18日までの葉書12通

9.0~9.2×14.0~14.4cm

●書簡(フランク・シャーマン宛)

1949年3月5日(フジタが日本を発ったのが3月10日なので, この日付は誤記と思われる)~

1949年5月21日までの書簡28通

10.2~27.2×10.7~27.7cm

伊原宇三郎展 — 生誕百年を記念して —

会期：1994(平成6)年6月4日—7月10日 (32日間)

会場：展示室A・B・C, 展示ロビー, ワークシップ, エントランスホール

主催：目黒区, 目黒区美術館

担当学芸員：山田敦雄

巡回スケジュール：1994年7月16日—8月28日 徳島県立近代美術館

伊原宇三郎は、東京美術学校を卒業後1925(大正14)年から1929(昭和4)年までフランスに留学、ピカソら同時代の画家たちに共感をよせる一方、その背後のヨーロッパ絵画の伝統、クラシックな美に傾倒した。そこから生まれた、モニュメンタルで古典の静かな香気がたどる作品群は、ヨーロッパに学んだ明治以来のわが国洋画の大きな成果といえる。帰国後は、1930年協会展で滞欧作を発表、戦前の帝展・文展、戦後の日展を舞台にさらに探求を続け、1976(昭和51)年、81歳で他界するまでながく活躍。肖像画の名手としても知られ、膨大な作品を描く一方、新聞・雑誌の挿絵や口絵、ポスターなどにも多彩な仕事を残した。また、特に戦後は教育、美術家連盟、近代美術館創立運動、著作権保護などにも力を注ぎ、大きな足跡を残した。本展は、生誕百年を期に、初期から晩年まで代表作を網羅して、さらにはデッサンや制作過程の構想などをまじえて、伊原の生涯を回顧したものである。

●カタログ

寸法：29.6×22.5cm

ページ数：140ページ

内容：ごあいさつ(主催者)/図版/伊原宇三郎、戦時下の画業について(森芳功)/伊原宇三郎—たちすくむ画家(山田敦雄)/伊原宇三郎をめぐって—正統さと異端さと(江川佳秀)/出品リスト/年譜/文献抄

●ポスター

サイズ：B1, B3

●チラシ

サイズ：A4

USABURO IHARA 1894-1976

伊原宇三郎展

1994年6月4日(土)—7月10日(日)

目黒区美術館

生誕百年を記念して

絵画には何ができるのか。正面からみつめながら、形を捉えた画家がいた。絵画で思考した伊原宇三郎。その生涯をふりかえる。



会場風景



B2ポスター

出品目録

No.	作品名	制作年	素材、技法	寸法(cm)	所蔵先	初出品歴
●油彩						
1	椅子とテーブル	1915-16頃	油彩, キャンバス	32.5×45.5	徳島県立近代美術館	
2	渡瀬政近氏像	1916	油彩, キャンバス	53.0×41.0		
3	赤い屋根のある風景	1917-18頃	油彩, 板	37.0×26.9		
4	二人婦人像	1920	油彩, キャンバス	79.8×116.3	徳島県立近代美術館	
5	よろこびの山(美術学校卒業制作)	1920	油彩, キャンバス	89.4×145.5	東京芸術大学芸術資料館	第3回帝展
6	自画像(美術学校卒業制作)	1921	油彩, キャンバス	60.6×45.5	東京芸術大学芸術資料館	
7	鳥と女	1921	油彩, キャンバス	145.0×66.5	徳島県立近代美術館	
8	後ろ向きに横たわる裸婦	1925	油彩, ボード	37.4×45.9		
9	フォンテンブロー宮	1925	油彩, キャンバス	61.0×73.0		
10	読書する婦人	1925頃	油彩, キャンバス	79.5×64.0	四国放送	
11	首飾りを持つ婦人	1925-26頃	油彩, キャンバス	92.0×73.0		
12	羽飾りの女	1925-26頃	油彩, 板	55.0×22.7		
13	鉄橋(モレー)	1925頃	油彩, 板	27.0×34.0		
14	小さな黒い犬のいる風景	1925-26頃	油彩, キャンバス	45.5×38.0		
15	フランス風景	1926頃	油彩, 板	14.0×18.0		
16	フランスの田舎の町	1926頃	油彩, 板	35.0×27.0		
17	フランス風景	1926頃	油彩, ボード	33.0×24.0		
18	モンマルトル風景	1926頃	油彩, 板	37.6×45.4	多摩中央信用金庫	
19	雪の街景	1926頃	油彩, ボード	23.8×32.6		
20	アヴィニオンの廃跡	1926頃	油彩, キャンバス	54.2×65.0	目黒区美術館	
21	パリ風景	1926頃	油彩, キャンバス	46.0×54.3	徳島県立近代美術館	
22	時計のある静物	1925-26頃	油彩, ボール紙	27.0×21.7		
23	カナベの女	1926	油彩, キャンバス	89.3×145.5		第5回1930年協会展
24	座れる裸婦	1926	油彩, キャンバス	73.0×60.3	徳島県立近代美術館	
25	白いレースの婦人像	1926-27頃	油彩, キャンバス	91.5×73.0		
26	白いシュミーズ	1926-27頃	油彩, キャンバス	91.0×72.8		第5回1930年協会展
27	画室記念	1926-27頃	油彩, キャンバス	91.8×73.1	徳島県立近代美術館	第5回1930年協会展
28	窓からの港	1927頃	油彩, キャンバス	60.0×72.8	徳島県立近代美術館	
29	エトルタ風景	1927	油彩, キャンバス	97.2×130.2		
30	イタリア風景	1927	油彩, 板	15.0×10.0		
31	シシリー島タオルミナ野外劇場跡	1927	油彩, 板	37.6×45.3		
32	イタリー, ヴェニス大運河(河口附近)	1927	油彩, キャンバス	46.9×55.2		
33	群像習作 A	1927頃	油彩, キャンバス	45.5×69.0		
34	群像習作 B	1927頃	油彩, キャンバス	45.5×69.0		
35	群像習作 C	1927頃	油彩, キャンバス	45.5×69.0		
36	窓辺の婦人	1927頃	油彩, キャンバス	46.0×54.8		
37	ハープを弾く婦人	1927頃	油彩, キャンバス	99.5×80.0		
38	白い壺のある静物	1927-28頃	油彩, キャンバス	73.3×91.2	徳島県立近代美術館	
39	窓際の静物	1927-28頃	油彩, キャンバス	60.0×73.1		
40	ストーブのある画室	1927-28頃	油彩, キャンバス	73.0×50.0		
41	黒人の立てる室内	1927-28頃	油彩, キャンバス	99.7×80.9		
42	赤い着物のマドレー	1928頃	油彩, キャンバス	116.0×72.5		
43	横たわる裸婦(習作)	1928頃	油彩, ボード	38.3×46.5		
44	横臥裸婦	1928	油彩, キャンバス	96.8×129.8	世田谷美術館	1928年サロン・ドートニス(Femme étendue), 第5回1930年協会展
45	白衣を纏える(白布を纏える)	1928	油彩, キャンバス	100.2×81.4	徳島県立近代美術館	1928年サロン・ドートニス(Femme nue au fauteuil rouge), 第5回1930年協会展
46	裸婦(憩い)	1928	油彩, キャンバス	66.0×100.4	世田谷美術館	第5回1930年協会展
47	緑衣婦人像(青衣婦人像)	1928	油彩, キャンバス	80.0×100.0		第2回聖徳太子奉賛美術展
48	室内群像	1928-29	油彩, キャンバス	184.5×166.5	東京国立近代美術館	第5回1930年協会展

No.	作品名	制作年	素材, 技法	寸法(cm)	所蔵先	初出品歴
49	椅子によれる	1929	油彩, キャンバス	130.0×97.0	石橋美術館	第10回帝展出品(特選), 昭和洋画奨励賞(米山賞)受賞, 第5回1930年協会展
50	二人(習作)	1930	油彩, キャンバス	161.0×143.7	徳島県立近代美術館	
51	二人	1930	油彩, キャンバス	161.0×143.7	徳島県立近代美術館	第11回帝展(特選)
52	『丘に坐す』のための習作(第12回帝展出品作のための習作)	1931	油彩, ボード	26.8×35.0		
53	トーキー撮影風景	1933	油彩, キャンバス	121.0×212.2	世田谷美術館	第14回帝展
54	裸婦三容(浴後)	1934	油彩, キャンバス	187.6×291.0	よみうりランド	第15回帝展
55	徳川家達公肖像	1936	油彩, キャンバス	132.5×101.5	参議院	
56	汾河を護る(夜は不眠の警備)	1938	油彩, キャンバス	132.5×101.5	徳島県立近代美術館	第2回新文展
57	男女像	1939(原作)	油彩, キャンバス	100.2×72.8		(第3回新文展出品『雄心』を戦後、画面変更)
58	港の風景(香港)	1940	油彩, キャンバス	53.0×64.0	徳島県	
59	女の顔	1940(原作)	油彩, キャンバス	53.0×33.5	石橋美術館	(紀元2600年奉祝展出品『素衣』の部分)
60	手	1940(原作)	油彩, キャンバス	45.5×60.5		(紀元2600年奉祝展出品『素衣』の部分)
61	バーモウ・ビルマ国家代表像	1943	油彩, キャンバス	116.0×89.8	東京国立近代美術館	第6回新文展
62	香港に於ける酒井司令官, ヤング総督の会見	1943-44	油彩, キャンバス	186.0×254.3	東京国立近代美術館	昭和18年度陸軍作戦記録画, 第2回陸軍美術展覧会
63	島田戦車部隊スリムの敵陣突破	1944	油彩, キャンバス	129.0×161.0	東京国立近代美術館	昭和19年度陸軍作戦記録画, 戦時特別文展
64	陰	1946	油彩, キャンバス	90.0×116.0	徳島県立近代美術館	第2回日本美術展
65	室内風景	1948	油彩, キャンバス	116.6×91.0	徳島県立近代美術館	第1回美術団体連合展
66	折口信夫肖像	1949	油彩, キャンバス	45.5×33.3	慶應義塾大学	
67	由利子とミミ	1949	油彩, キャンバス	90.7×72.3	東京国立近代美術館	第5回日本美術展
68	キリストの首	1953	油彩, キャンバス	91.0×116.8	旺文社	第9回日本美術展(1966年に加筆)
69	柳田国男肖像	1954	油彩, キャンバス	53.0×33.3	飯田市美術博物館	
70	エトルタ海岸	1956	油彩, キャンバス	45.2×37.9	徳島県郷土文化会館	
71	南仏風景	1957頃	油彩, キャンバス	45.4×38.0		
72	丘の風景	1958	油彩, キャンバス	80.4×100.0		第1回日展
73	アトリエ	1959	油彩, キャンバス	91.2×116.6	徳島県立近代美術館	第2回日展
74	ポニーテール	1960	油彩, キャンバス	100.0×80.3		第3回日展
75	アトリエの一隅	1960頃	油彩, キャンバス	65.0×54.0		
76	団地附近	1961	油彩, キャンバス	80.5×100.0		第4回日展
77	鳴門	1965	油彩, キャンバス	41.0×31.8		
78	顔	1965頃	油彩, ボード	33.0×24.0	多摩中央信用金庫	
79	卓によれる	1966	油彩, キャンバス	100.0×81.0		第9回日展
80	滑り台のある風景	1968	油彩, キャンバス	100.3×80.2	徳島県立近代美術館	第11回日展
81	黒い船(エトルタ)	1971	油彩, キャンバス	91.3×116.8	多摩中央信用金庫	第3回(改題)日展
82	桜島風景(絶筆)	1975	油彩, キャンバス	37.8×45.4		

●模写

83	コロ『モルトフォンテーヌの追憶』	1926	油彩, キャンバス	49.8×65.3	(1864, 65.0×89.0, ルーブル美術館)
84	アングル『グランドオダリスク』	1927-28	油彩, キャンバス	93.4×162.4	東京芸術大学芸術資料館(1814, 91.0×162.0, ルーブル美術館)
85	ピカソ『ギター, トランプ, ガラスのコップ, 新聞』	不詳	油彩, キャンバス	41.1×26.8	(1914. Zervos II-510)
86	ピカソ『楽器, ボルトの瓶, ギター, トランプ』	不詳	油彩, キャンバス	45.7×54.5	(1917. Zervos III-102)
87	ピカソ『風景』	1925頃	油彩, キャンバス	18.7×26.2	(1919. Zervos III-364)
88	ピカソ『卵, 巻いたナプキン, 一組の食器』	1925頃	油彩, キャンバス	22.7×28.2	(1924. Zervos V-266)
89	ピカソ『プリント地のスカーフ』	1925	油彩, キャンバス	22.1×17.8	(1924. Zervos V-323)

No.	作品名	制作年	素材, 技法	寸法 (cm)	所蔵先	初出品歴
90	ピカソ『胸像, コンポート, マンドリン, 赤い敷物』	1925	油彩, キャンバス	18.8×24.1	(1924. Zervos V-364)	
91	ピカソ『窓の前のマンドリンとリンゴを盛ったコンポート』	1925	油彩, キャンバス	18.9×23.1	(1924. Zervos V-376)	
92	ピカソ『ギター, 楽譜, メロンの薄切りのあるコンポート, 女の胸像』	1925頃	油彩, キャンバス	17.6×24.9	(1925. Zervos V-377)	
93	ピカソ『コンポートと窓ガラス』	1925	油彩, キャンバス	13.7×20.2	(1925. Zervos V-380)	
94	ピカソ『マンドリン, コンポート, 石膏の腕』	1925	油彩, キャンバス	17.5×25.1	(1925. Zervos V-444)	
95	ピカソ『ギターとオレンジを盛ったコンポート』	1925	油彩, キャンバス	17.7×24.9	(1925. Zervos V-446)	
96	ピカソ『彫刻家』	1925	油彩, キャンバス	23.1×17.9	(1925. Zervos V-451)	
97	ピカソ『静物』	1925	油彩, キャンバス	18.5×24.0	(1925. Zervos V-462)	
98	ピカソ『座る女』	1927	水彩, 紙	26.0×19.0	(1927. Zervos VII-77)	
99	ピカソ『人物』	1927	油彩, キャンバス	30.3×22.1	(1926-27. Zervos VII-81)	

●水彩・デッサン・スケッチ

100	山際の家	1911	水彩, 紙	13.5×21.5		
101	颯風の後	1911	水彩, 紙	13.0×20.0		
102	兄を待つ間	1911	水彩, 紙	13.5×21.0		
103	習作・裸婦	滞欧期	木炭, 紙	63.5×48.8		
104	習作・裸婦	滞欧期	木炭, 紙	63.8×48.8		
105	習作・手	滞欧期	木炭, 紙	49.5×42.2		
106	習作・衣紋	滞欧期	木炭, 紙	47.2×31.5		
107	習作・うつむく顔	滞欧期	木炭, 紙	33.8×37.5		
108	習作・半身像	滞欧期	木炭, 紙	43.0×45.5		
109	アトリエのモデル	滞欧期	鉛筆, 紙	50.0×43.4		
110	村娘	滞欧期	コンテ, 紙	44.2×33.0		
111	『白衣を纏える』のためのスケッチ	1928頃	鉛筆, 紙	50.0×43.1		
112	街角	滞欧期	コンテ, 紙	26.1×34.2		
113	室内	滞欧期	鉛筆, 紙	30.8×40.2		
114	教会のある街並	滞欧期	鉛筆, 紙	34.1×26.0		
115	街角	滞欧期	鉛筆, 紙	26.0×34.1		
116	線路のある風景	滞欧期	鉛筆, 紙	34.1×26.0		
117	『素衣』のためのスケッチ	1940頃	木炭, 紙	78.2×51.5		

手と目の冒険広場

色の博物誌・赤—神秘の謎解き

会期：1994(平成6)年8月6日—9月18日 (38日間)

会場：展示室A・B・C, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール

主催：目黒区美術館, 目黒区教育委員会

協賛：日本コダック株式会社, アサヒビール, 芸術文化振興基金

担当学芸員：降旗千賀子

ワークショップスタッフ：榎本寿紀

平成4年度に開催した「色の博物誌・青—永遠なる魅力」に続く《色と素材シリーズ》の第2回目の企画として、赤の神秘の謎解きを試みた。第1部では、日本における赤の素材史を考古資料や民俗資料から構成し、どのような素材から赤が得られてきたかを探った。さらに第2部では、美術作品における赤の表現を、テクスチャーやマチエールに注目しながら赤の奥行きに深さにせまった。そして、それらの展示とともに、視ることを通じての赤の再発見を、インターラクティブな活動に発展させ、ダイナミックな雰囲気の中で赤のテーマを盛り上げた。

●カタログ

寸法：28.0×22.4cm

ページ数：80ページ

デザイン：大石一義

内容：ごあいさつ(加藤貞雄)／赤色変幻—原色彩としてのアカ(村上善男)／赤について(谷新)／図版／赤をみる・赤を知る—素材を通して考えること(降旗千賀子)／赤の色材—素材解説／作家解説／作品リスト／主要参考図書／ワークショップ

●ポスター

サイズ：B2, B3

デザイン：大石一義

●チラシ

サイズ：A4

デザイン：大石一義

●子ども用チラシ

サイズ：A4

デザイン：インフォメディア

●主要関連記事

現代にも脈々と流れる「赤」の神秘, 系統だてて「色の博物誌・赤」展 朝日新聞 1994年8月17日

「色の博物誌・赤—神秘の謎解き」展 赤の魅力, 生活・美術両面から 三田晴夫 毎日新聞 1994年8月22日

人間の古い記憶に訴える「色の博物誌・赤」展 宝玉正彦 日本経済新聞 1994年8月25日

色の博物誌「赤」—神秘の謎解き Exhibition Review 松枝到 BT 1994年11月号

※ワークショップについてはP.44参照



B2ポスター



会場風景

出品目録

No.	資料名・作品名	作家名・制作者等 産地, 技法, 材質等	年代・制作年等	寸法 (cm)	所蔵先
I 部 色材からのアプローチ—赤の神秘					
●赤い色のめざめ・〈ベンガラ〉とく朱					
1	赤色顔料付着の蛤	港北区下組東貝塚(横浜市)	縄文時代前期	長5.2, 幅6.7	大田区立郷土博物館
2-1・2	赤色顔料付着の貝殻	北区西ヶ原(東京都)	縄文時代後期	長7.0, 幅9.0	國學院大學考古學資料館
3	赤色顔料付着の貝殻	山武郡横芝町姥山貝塚(千葉県)	縄文時代晩期	長4.5, 幅6.2	國學院大學考古學資料館
4	赤色顔料入り縄文土器	東置賜郡高鼻町観音岩(山形県)	縄文時代後期	径8.7, 高9.0	國學院大學考古學資料館
5	赤色顔料付着の耳捻(耳飾り)	目黒区東山遺跡(東京都)	縄文時代後期	3.3	目黒区教育委員会保管
6	赤漆塗壺形土器	津軽郡十腰内(青森県)	縄文時代晩期	径7.6, 高14.0	目黒区守屋教育会館郷土資料室
7	赤漆塗土器片	目黒区東山遺跡(東京都)	縄文時代晩期前半	4.7	目黒区教育委員会保管
8	赤漆塗飾櫛片	目黒区東山遺跡(東京都)	縄文時代晩期前半	2.8	目黒区教育委員会保管
8	参考資料 飾り櫛復元見本			15.7	國學院大學考古學資料館
9	赤漆塗製品漆膜	目黒区東山遺跡(東京都)	縄文時代晩期前半		目黒区教育委員会保管
10	赤彩色の壺形土器	大田区久ヶ原遺跡(東京都)	弥生時代後期	径23.8, 高31.5	大田区立郷土博物館
11	赤彩色の壺形土器(口縁部・底部欠損)	大田区久ヶ原遺跡(東京都)	弥生時代後期	縦24.0, 幅23.5	大田区立郷土博物館
12	赤彩色の壺形土器(口縁部・胴下半部欠損)	大田区山王遺跡(東京都)	弥生時代晩期	幅21.0, 高14.1	大田区立郷土博物館
13	赤彩色の埴輪女子	水戸市愛宕町(茨城県)	古墳時代後期	高73.6	東京国立博物館
14	赤彩色の埴輪男子頭部	佐波郡境町上武士(群馬県)	古墳時代後期	高16.0	東京国立博物館
15	棺(小児用)	山梨県	古墳時代	114.0×54.0, 高84.0	國學院大學考古學資料館
16	赤色顔料付着の石片(古墳石室構築材)	桜井市外山茶臼山古墳(奈良県)	古墳時代	25.0~8.2	國學院大學考古學資料館
17	赤色顔料と赤色乾漆片(朱)	橿原市五条野町菖蒲池古墳(奈良県)	古墳時代		國學院大學考古學資料館
18-1~5	酸化鉄系顔料及び土	1 東置賜郡高鼻町観音岩(山形県) 2-3 箱根町仙石(神奈川県) 4 明神山麓 5 多賀城(宮城県)			國學院大學考古學資料館
19	赤色顔料の塊(重要文化財一括のうち)	前橋市天神山古墳(群馬県)	古墳時代前期	径5.0	東京国立博物館
20	朱をつくるための辰砂と道具(石臼, 石杵)	阿南市若杉山遺跡(徳島県)	弥生時代後期 ~古墳時代前期	石臼 長47.6 幅30.0, 石杵 長15.0	徳島県立博物館
21-1	辰砂[しんしゃ]	宇陀郡大宇陀町(奈良県)		16.0	國學院大學考古學資料館
21-2	辰砂	(奈良県)		14.5	平塚市美術館
22	酸化鉄の塊	青梅市駒木野町喜代沢遺跡(東京都)	縄文時代後期 ~晩期		
23	鉛丹[えんたん]の塊			5.5	國學院大學考古學資料館
23	参考作品 和漢百物語 登喜大四郎	月岡芳年	慶応元(1865)	大判錦絵	版元:大黒屋金之助・金次郎

No.	資料名・作品名	作家名・制作者等	産地、技法、材質等	年代・制作年等	寸法(cm)	所蔵先
●赤の素材・素材と表情						
24	日本茜[にほんあかね]		葉と根、絹布染色サンプル			*女子美術大学工芸科研究室協力
25	紅花		種、花頭、紅花餅、染め布			*町田市大賀織絲館協力
26	蘇芳[すおう]		心材、絹糸染色サンプル、絹布染色サンプル			*女子美術大学工芸科研究室協力
27	臘脂[えんじ]		ラック虫、臘脂綿			
28	コチニール		コチニール(貝殻山)、コチニールカーマインレーキ顔料、コチニールカーマイン油絵具、絹糸染色サンプル、原毛染色サンプル			*女子美術大学工芸科研究室協力
29	西洋茜		茜の根、ローズマダー顔料、絹糸染色サンプル、原毛染色サンプル			*女子美術大学工芸科研究室協力
30	法隆寺金堂内陣飛天図復元模写	林功	白土壁着色	1991	70.6×134.2	法隆寺
30	参考資料 天然顔料[天平の色—日本画]画材の引き出し博物館より					目黒区美術館
●生活・祝祭における赤のトピックス						
31	小袖裂 松皮取に草花文様		辻が花染/絹(練緯地)	桃山時代	79.0×39.0	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
32	小袖裂(慶長裂) 小花文様段替		描絵、刺繍、摺箔/絹(輪子地)	江戸時代前期	92.5×53.5	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
33	小袖裂 紅葉柴文様		摺匹田、刺繍、抜染/絹(紋綾地)	江戸時代	65.0×30.0	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
34	小袖裂 曼暮に桜文様		鹿の子絞、刺繍/絹(縮子地)	江戸時代中期	60.0×29.0	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
35	小袖裂 家紋散し文様		絞り染、刺繍/絹(羽二重)	江戸時代	37.8×23.2	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
36	振袖 雲取前栽草花文様		友禪染/絹(輪子地)	江戸時代末期	裾67.0, 丈163.0	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
37	本紅				径9.0	*鈴木孝男制作
38-1~4	紅猪口[べにちよく]		陶磁器	明治時代	径10.5~7.5	ポラ文化研究所
39	紅猪口(小町紅)	伊勢半			径5.3	
40	紅板(都紅)		紙	明治時代	12.0×6.0	ポラ文化研究所
41	紅板		象牙	江戸時代	4.5×3.5	ポラ文化研究所
42	おしどり形紅, 白粉入れ	紅清	陶器	明治時代	紅用 長6.5, 高3.5 白粉用 長7.0, 高5.0	ポラ文化研究所
43	化粧	伊藤小坡	絹本着色	明治時代末期頃	127.6×94.1	
44	半身美人図	祇園井特	紙本着色	文化年間(1800頃)	55.1×35.4	
45	浮世風俗美女競 看花復飲酒 酔臥落花茵	溪斎英泉	大判錦絵, 版元: 若狭屋与市	文政中期		千葉市美術館開設準備室
46	當世好物八契 けん酒	溪斎英泉	大判錦絵, 版元: 和泉屋市兵衛	文政6(1823)		千葉市美術館開設準備室
47	万祝[まいわい] 三丁格子に鶴亀松竹梅文		気仙沼(宮城県) 型染/木綿	大正時代初期	裾61.0, 丈135.0	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
48	万祝 大漁文字入り注連縄にかもめ文		千葉県 型染/木綿	大正時代~昭和時代初期	裾64.0, 丈142.0	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
49	結納 一式	津田梅	金沢(石川県) 水引き, 紙, 木			目黒区美術館
50	御神酒口[おみきぐち] 宝船 一對		青梅(東京都) 竹, 紙		長27.7, 幅19.7	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
51	御神酒口 丸 一對		青梅(東京都) 竹, 紙		長19.2, 幅10.5	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
52	御神酒口 福の座 一對		青梅(東京都) 竹, 紙		長21.6, 幅18.5	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
53	掛袱紗[かけふくさ] 鶴亀松竹梅文		京都(京都府) 友禪染, 刺繍/絹(縮緬地)	明治時代初期	長48.0, 幅46.0	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
54	筥迫[はこせこ] 鶴文		京都(京都府) 刺繍/絹		長7.3, 幅12.7	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
55	筥迫 赤地菊文金襴		京都(京都府) 刺繍/絹		長7.0, 幅12.3	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
56	根来塗 瓶子 一對		漆器/木地	室町時代	径25.8, 高37.2	

No.	資料名・作品名	作家名・作者等	産地、技法、材質等	年代・制作年等	寸法(cm)	所蔵先
57	根来塗 八角鉢		漆器/木地	室町時代	径44.5, 高11.2	
58	産湯布[うぶゆぬの] 鬩斗に鶴亀松竹梅文		出雲地方(島根県) 筒描き染/木綿	明治時代	83.8×62.1	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
59	産湯布 寿字扇に鶴亀松竹梅文		出雲地方(島根県) 筒描き染/木綿	明治時代	111.8×79.4	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
60	長襦袢 松竹梅鶴文様		板締め染/絹(羽二重)	江戸時代末期	桁62.0, 丈120.0	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
61	長襦袢 鶴菊文様, 蝙蝠寿字文様		板締め染/絹(羽二重と縮緬)	明治時代	桁65.0, 丈107.0	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
62	振袖用下着 波頭に鶴文様		友禅染, 刺繍/絹(縮子地)	江戸時代末期	桁48.0, 丈117.0	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
63	お守袋 赤地撫子文刺繍		絹		8.0	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
64	お守袋 赤地雲鶴文金襴		絹		12.0	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
65	お守袋 赤地宝尽し文錦		絹		7.0	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
66	疱瘡絵[ほうそうえ] 金太郎	歌川芳鶴	木版単色刷/和紙	江戸時代後期	33.3×22.2	東京都江戸東京博物館
67	疱瘡絵 兎	歌川国芳	木版単色刷/和紙	江戸時代後期	33.3×22.2	東京都江戸東京博物館
68	豆州八丈島鎮守 正一位八郎大明神 正像		木版二色刷/和紙	江戸時代後期	46.0×35.5	順天堂大学
69	厄除 鎮西八郎為朝大神像		木版単色刷	明治29(1896)	36.5×25.0	順天堂大学
70-1・2	新形三十六怪撰 為朝の武威痘鬼神に退く図	月岡芳年	大判錦絵, 版元: 佐々木豊吉	明治23(1890)	大判錦絵	1.順天堂大学
71	疱瘡絵本	春扇	木版単色刷一冊/和紙	嘉永元(1848)	22.0×15.0	順天堂大学
72-1・2	疱瘡除守札		和紙	江戸時代後期	15.5×8.3, 14.4×2.4	順天堂大学
73	疱瘡神棚図 出雲の国大社鷲大明神 疱瘡守御笠		木版単色刷/和紙	江戸時代後期	16.5×42.5	順天堂大学
74	疱瘡神棚用赤紙		和紙	昭和17(1932)	16.5×16.8	順天堂大学
75	這子[ほうこ]		人形/絹	江戸時代末期	高38.0	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
75	参考作品 新形三十六怪撰 四ツ谷怪談	月岡芳年	大判錦絵, 版元: 佐々木豊吉	明治25(1892)		
76	這子		人形/絹	江戸時代末期	高25.0	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
77	よだれかけ		鹿の子絞/絹(縮緬地)	明治36(1903)	37.6	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
78	腹掛け		絹(縮緬地)	明治時代	22.0	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)

79-1~64郷土玩具
 武蔵野美術大学美術資料図書館 民俗資料室

-1 扇ねぶた 弘前市(青森県) / -2 花笠持ち(岩手県) / -3 花巻土人形・胡蝶 花巻市(岩手県) / -4 花巻土人形・子守 花巻市(岩手県) / -5 堤人形・おぼこ 仙台市(宮城県) / -6 堤人形・鯛乗り子供 仙台市(宮城県) / -7 堤土人形・鯛担ぎ 仙台市(宮城県) / -8 堤人形・男雛 仙台市(宮城県) / -9 堤人形・女雛 仙台市(宮城県) / -10 仙台張子・熊金 仙台市(宮城県) / -11 中山土人形・子守 横手市(秋田県) / -12 八橋土人形・鯛乗り 秋田市(秋田県) / -13 八橋土人形・花魁 秋田市(秋田県) / -14 会津天神 会津若松市(福島県) / -15 三春張子・羯鼓 田村郡三春町(福島県) / -16 三春張子・高柴達磨 郡山市(福島県) / -17 三春張子・起き姫 田村郡三春町(福島県) / -18 三春張子・鯛乗り恵比寿 田村郡三春町(福島県) / -19 会津張子・赤べこ 会津若松市(福島県) / -20 会津張子・赤べこ 会津若松市(福島県) / -21 鴻巣練物・鯉金 鴻巣市(埼玉県) / -22 鴻巣練物・弓獅子 鴻巣市(埼玉県) / -23 鴻巣練物・赤天神 鴻巣市(埼玉県) / -24 鴻巣練物・熊金 鴻巣市(埼玉県) / -25 妙安寺絵馬 熊谷市(埼玉県) / -26 すすきみみずく(東京都) / -27 山口人形・小町娘 北蒲原郡水原町(新潟県) / -28 山口人形・鯛乗り恵比寿 北蒲原郡水原町(新潟県) / -29 山口人形・三角達磨 北蒲原郡水原町(新潟県) / -30 山口人形・三角達磨 北蒲原郡水原町(新潟県) / -31 厄払い面 佐渡郡(新潟県) / -32 魔除け団扇 白根市(新潟県) / -33 金魚車 新発田市(新潟県) / -34 富山土人形・馬乗り鎮台 富山市(富山県) / -35 富山土人形・帶上娘 富山市(富山県) / -36 富山土人形・獅子頭 富山市(富山県) / -37 高岡の獅子頭 富山市(富山県) / -38 五箇山利賀・鯉金 東砺波郡(富山県) / -39 金沢張子・八幡起上り 金沢市(石川県) / -40 中野土人形・静御前 中野市(長野県) / -41 中野土人形・立人形 中野市(長野県) / -42 天狗面 沼田市(静岡県) / -43 静岡張子・祝い鯛 静岡市(静岡県) / -44 立娘(愛知県) / -45 豊川張子・獅子頭 豊川市(愛知県) / -46 豊川張子・おころりん 豊川市(愛知県) / -47 草津張子・狸々 草津市(滋賀県) / -48 草津張子・伴達磨 草津市(滋賀県) / -49 稲畑土人形・鯛抱き恵比寿 氷上郡氷上町(兵庫県) / -50 御坊人形・鯛抱き恵比寿 御坊町(和歌山県) / -51 狸々面 鳥取市(鳥取県) / -52 倉吉張子・烏天狗面 倉吉市(鳥取県) / -53 流し雛(鳥取県) / -54 板きりん 鳥取市(鳥取県) / -55 三次土人形・男雛 三次市(広島県) / -56 三次土人形・女雛 三次市(広島県) / -57 常石張子・金魚(広島県) / -58 猿ぼぼ(くくり猿) 阿武郡川村村(山口県) / -59 高松張子・鯛抱き童子 高松市(香川県) / -60 高松張子・狸々起上り 高松市(香川県) / -61 鉢巻達磨(福岡県) / -62 達磨 柳川市(福岡県) / -63 雉子車 山門郡瀬高町(福岡県) / -64 白拍子(制作地不明)

80-1~6 凧
 武蔵野美術大学美術資料図書館 民俗資料室

-1 能代凧・男べらぼう 能代市(秋田県) / -2 横須賀凧・巴 小笠郡大須賀町横須賀(静岡県) / -3 横須賀凧・とんがり 小笠郡大須賀町横須賀(静岡県) / -4 五ツ輪 高松市(香川県) / -5 ハタ 長崎市(長崎県) / -6 ハタ 長崎市(長崎県)

No.	作品名	作家名	技法, 材質	年代・制作年等	所蔵先
81	東京名所の内 浅草区金龍山浅草寺境内一覽	歌川国利	大判錦絵三枚続, 版元:長谷川基吉	明治時代	東京都江戸東京博物館
82	東京名所 浅草観世音之図	歌川国輝	大判錦絵三枚続, 版元:古橋新之助	明治19~28 (1886~1895)	東京都江戸東京博物館
83-1・2	風俗三十二相 にくらしさう 安政年間名古屋嬢の風俗	月岡芳年	大判錦絵, 版元:綱島亀吉	明治21(1888)	1.千葉市美術館開設準備室

No.	作品名	作家名	技法, 材質	制作年	所蔵先
84-1・2	風俗三十二相 いたさう 寛政年間女郎の風俗	月岡芳年	大判錦絵, 版元:綱島亀吉	明治21(1888)	1.千葉市美術館開設準備室
85	風俗三十二相 むまさう 嘉永年間女郎の風俗	月岡芳年	大判錦絵, 版元:綱島亀吉	明治21(1888)	千葉市美術館開設準備室
86	風俗三十二相 けむさう 享和年間内室の風俗	月岡芳年	大判錦絵, 版元:綱島亀吉	明治21(1888)	千葉市美術館開設準備室
87	風俗三十二相 つめたさう 文化年間めかけの風俗	月岡芳年	大判錦絵, 版元:綱島亀吉	明治21(1888)	千葉市美術館開設準備室
88	魁題百撰相 鳥井彦右エ門元忠	月岡芳年	大判錦絵, 版元:大橋屋弥七	明治2(1869)	
89	魁題百撰相 冷泉判官隆豊	月岡芳年	大判錦絵, 大橋屋弥七	明治元(1868)	
90	英明二十八衆句 稲田九藏新助	月岡芳年	大判錦絵, 版元:佐野富五郎	慶應2~3 (1866~67)	
91	英明二十八衆句 遠城喜八郎	月岡芳年	大判錦絵, 版元:佐野富五郎	慶應2~3 (1866~67)	
92	元禄日本錦 み 村松三太夫高直 柳原平右エ門	河鍋暁斎	大判錦絵, 版元:武川清吉	明治19(1886)	千葉市美術館開設準備室
93	五代目尾上菊五郎の小間物屋才次郎	豊原国周	大判錦絵上下二枚継, 版元不詳	明治20(1887)	千葉市美術館開設準備室

No.	作品名	作家名	技法/材質	制作年	寸法(cm)	所蔵先
-----	-----	-----	-------	-----	--------	-----

II部 美術の中の赤—鼓動するイメージをめぐって

●静謐の赤・畏怖の赤

1	刺青の女	簗木清方	絹本着色	1917	127.0×50.7	福富太郎コレクション
2	雪	簗木清方	絹本着色	1940頃	129.0×41.0	福富太郎コレクション
3	五月雨	北野恒富	絹本着色	1916	162.3×71.6	福富太郎コレクション
4	種痘	太田聴雨	紙本着色	1934	199.5×119.0	京都市美術館
5	宵	伊東深水	絹本着色	1933	79.5×99.3	埼玉県立近代美術館
6	晴日	上村松園	絹本着色	1941	78.0×88.0	京都市美術館
7	塩谷高貞妻浴後図	渡辺省亭	絹本着色	制作年不詳	92.0×37.4	福富太郎コレクション
8	横櫛	甲斐庄楠音	絹本着色	1918	84.5×54.9	福富太郎コレクション
9	花魁	木村斯光	絹本着色	1921	127.0×42.0	京都国立近代美術館
10	拳の舞妓	岡本神草	絹本着色	1921-23	46.8×60.6	星野画廊
11	静物	木村荘八	油彩/キャンバス	1919	65.3×80.3	練馬区立美術館
12	西瓜	浜口陽三	カラーメゾチント/紙	1981	24.0×55.0	国立国際美術館
13	鶏頭の庭	山口華楊	紙本着色	1977	161.5×115.0	京都市美術館
14	秋嶽紅樹	奥田元宋	紙本着色	1975	222.5×119.0	練馬区立美術館
15	子供	関根正二	油彩/キャンバス	1919	60.6×45.5	石橋財団ブリヂストン美術館
16	女	里見勝蔵	油彩/キャンバス	1930	80.3×116.7	目黒区美術館
17	傷ましき腕	岡本太郎	油彩/キャンバス	1936	111.7×162.3	川崎市岡本太郎美術館準備室
18	無限の網 B	草間彌生	アクリル/キャンバス	1964	194.0×390.0	目黒区美術館
19	鏡の部屋—愛は永遠に(No.3)	草間彌生	布・綿・塗料・木・ 鏡・電球他	1964	75.0×75.0×170.0	目黒区美術館

●躍動する赤の軌跡・赤の存在

20	作品	元永定正	油性アクリルカラー/ キャンバス・合板	1962	172.0×229.0	山村コレクション・兵庫県立近代美術館
21	作品	村上三郎	油彩・木・石膏/合板	1963	217.5×183.5×20.0	山村コレクション・兵庫県立近代美術館

No.	作品名	作家名	技法/材質	制作年	寸法(cm)	所蔵先
22	作品R	斎藤義重	油彩/合板	1960	182.0×121.0	山村コレクション・兵庫県立近代美術館
23	赤い立像	大沢昌助	油彩/キャンバス	1961	99.8×80.4	練馬区立美術館
24	三つの丸	オノサトシノブ	油彩/キャンバス	1957	90.0×130.0	兵庫県立近代美術館
25	緋 No.24	大野俣嵩	縮・麻布・顔料/板	1964	141.0×129.0	京都市美術館
26	舟・赤い	小清水漸	繪・水銀朱・水・白大理石・塩地	1986	150.0×147.0×75.0	愛媛県立美術館
27	浮島・赤い	小清水漸	桂・水銀朱・水・白大理石・塩地	1986	148.0×97.0×75.0	国立国際美術館
28	華嚴 5	村上友晴	油彩/アクリル, 紙	1990	91.5×63.7	

No.	作品名	作家名	技法/材質	制作年	寸法(cm)	所蔵先
29	華嚴 6	村上友晴	油彩/アクリル, 紙	1990	91.5×63.7	
30	華嚴 9	村上友晴	油彩/アクリル, 紙	1991	91.5×63.7	
31	無題	村上友晴	油彩/アクリル, 紙	1984	59.0×47.2	目黒区美術館
32	無題	村上友晴	油彩/アクリル, 紙	1984	59.0×47.2	目黒区美術館
33	赤い闇 3	黒崎彰	木版多色刷/和紙	1970	80.0×55.0	
34	赤い闇 4	黒崎彰	木版多色刷/和紙	1970	80.0×55.0	
35	赤い闇 6	黒崎彰	木版多色刷/和紙	1970	80.0×55.0	
36	赤い闇 7	黒崎彰	木版多色刷/和紙	1970	80.0×55.0	
37	意勢 5	中村功	油彩・和紙/キャンバス	1987	218.2×333.3	
38	意勢 15	中村功	油彩・和紙/キャンバス	1989	227.3×162.1	ヒノギャラリー
39	U-93-92	吉永裕	パステル・顔料/和紙	1992	244.0×184.0	
●参考作品						
40	バレンタイン	エッソーレ・ソットサス,Jr.タイプライター (オリベッティ社)		1969	33.0×34.0×10.5	国立国際美術館
41	マリリン	スタジオ65	ソファ(発泡ウレタン)	1972	53.0×205.0×84.0	国立国際美術館

ガラス・アートの探究と創造—シルヴァに集うアーティストたち—展

会期：1994(平成6)年10月22日—11月27日 (32日間)

会場：展示室A・B・C, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール

主催：目黒区美術館, 読売新聞社, 美術館連絡協議会, DAP(フランス文化・フランス語圏省造形美術局), AFAA(フランス外務省フランス芸術文化活動協会)

後援：在日フランス大使館, 日本ガラス工芸協会, (社)日本硝子製品工業会

協賛：花王株式会社

協力：CIRVA(シルヴァ・フランス国際ガラス視覚芸術センター)

企画協力：ナンジョウ・アンド・アソシエイツ

担当学芸員：矢内みどり

巡回スケジュール：1995年4月8日—5月14日, 芦屋市立美術館(中止)

シルヴァ(CIRVAフランス国際ガラス視覚芸術センター)は、1986年にマルセイユに設立されたガラスを専門に研究する機関で、フランス文化・フランス語圏省などの助成を得て運営されている。ガラスにおける芸術的、技術的な革新をめざし、アーティスト、製造会社、科学者たちに交流と対話の機会を提供している。

本展では、美術家、デザイナー、建築家などがシルヴァで制作した作品を、立体・インスタレーション19点、オブジェ・花瓶33点、歴史的建築物のガラスの修復や再制作のためのサンプル4点で展示した。またシルヴァの活動の全体像がわかるよう、ガラス制作各段階を示すデッサンや試作品も展示した。

●カタログ

寸法：22.0×19.0cm

ページ数：176ページ

デザイン：立川龍也, 弘兼奈美

内容：ごあいさつ(主催者)／はじめに(アルフレッド・バックマン)／メッセージ(ジャン=ベルナール・ウーヴリュール)／シルヴァの意味するもの(南條史生)／対談：「南條史生, フランソワーズ・ギション」／図版／作家解説／作品リスト／用語説明

●ポスター

サイズ：B2, B3

デザイン：立川龍也

●チラシ

サイズ：A4

●主要関連記事

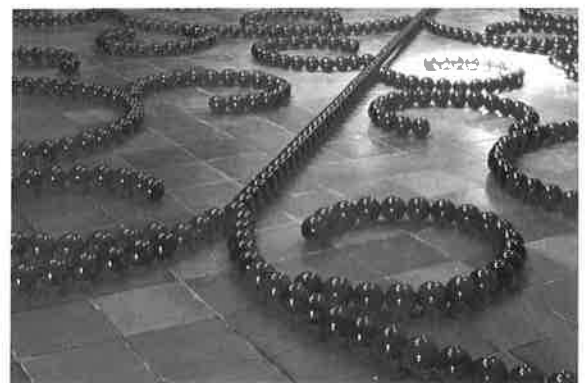
芸術の本質は作品に宿る 高島直之 BT 1995年7月号

11
1994
1995

Création de France
Le Verre, Recherche et

「ガラス・アートの
探究と創造
—シルヴァに集う
アーティストたち—展

CIRVA



1994年10月22日より
1994年11月27日まで
目黒区美術館
CIRVA

B2ポスター



会場風景

出品目録

No.	作品名	作家名	制作年	素材、技法	寸法(cm)	所蔵先
1	プロヴァンスの食器(『ボヴァリー夫人』より)	ジュディス・バルトラニー, クロード・カイヨール	1990	吹きガラス(リノ・タリアピエトラ作), 工業ガラス	140×80×80(台を含む)	シルヴァ
2	スープリヌの食器(『ボヴァリー夫人』より)	ジュディス・バルトラニー, クロード・カイヨール	1990	吹きガラス(リノ・タリアピエトラ作), プラスティック	140×80×80(台を含む)	フランス国立現代美術基金
3	馬車	ジュディス・バルトラニー, クロード・カイヨール	1990	吹きガラス, プラスティック	25×60×50(台を含まず)	作家
4	マルセイユの赤い天使(小)	ジェームズ・リー・バイヤース	1993	吹きガラス, 研磨	約11×500×500(球333個) *p.36, 37図版は球1000個により同時期に制作された作品	シルヴァ
5	アンプラント 中国の壺とこま犬	パスカル・コンヴェール	1989	パート・ド・ヴェール	壺 各高さ35×直径21 犬 19×22×9	シルヴァ
6	巨匠	エリック・ディートマン	1993	型吹きガラス, 紙	鼻 各49×33×45	シルヴァ
7	文字	トーマス・コヴァケヴィッチ	1988	成形型なしでのスランピング	4点組 40×94.5×50, 27×106×65, 21×118×107, 50×128×55	シルヴァ/作家
8	ガラスの円錐	ピオトル・コワルスキー	1990	スランピング, 大理石, ブロンズ	高さ250×直径127	シルヴァ
9	蟻地獄	リシャル・モニエ	1993	砂型の上にガラス粒を乗せて熱で溶解	高さ22.5×直径80	シルヴァ/作家
10	泉	オスマン	1990	ガラスの流し込み, 鉄	13×280	シルヴァ
11	中国の問題	オスマン	1990	吹きガラス, 米, 金属	球体3点, 各高さ35 全体直径150	作家
12	無題	オスマン	1990	ガラスの流し込み, 鉄	19点組 全体直径175	作家
13	爪	ジュゼッペ・ペノーネ	1988	スランピング, 熔着, 木の葉	ガラス27×120×145 全体40×180×300	シルヴァ
14	爪	ジュゼッペ・ペノーネ	1993	スランピング, 熔着, 木の枝	ガラス23×144×113, 全長約700	シルヴァ
15	アンジェル	フランソワーズ・ヴェルジエ	1989	型吹きガラス, ブロンズ, 真鍮, 石, ブロンズの止め環 *p.48図版の15は同時期に制作された「クレマン」(1989)	37×24×22	シルヴァ
16	コンスタンス	フランソワーズ・ヴェルジエ	1989	型吹きガラス, ブロンズ, 真鍮, 石, ブロンズの止め環	37×24×22	ギャラリー・パピヨン
17	フェリシテ	フランソワーズ・ヴェルジエ	1989	型吹きガラス, ブロンズ, 真鍮, 石, ブロンズの止め環	37×24×22	ギャラリー・パピヨン

No.	作品名	作家名	制作年	素材, 技法	寸法 (cm)	所蔵先
18	ロズモンド	フランソワーズ・ヴェルジエ	1989	型吹きガラス, ブロンズ, 真鍮, 石, ブロンズの止め環	37×24×22	ギャラリー・ナビオン
19	その水面で	フランソワーズ・ヴェルジエ	1992/3	パート・ド・ヴェール, ブロンズ	67×42×14	シルヴァ
20	トロフィー:文化省大賞のための	フランソワ・ポーシエ	1990	パート・ド・ヴェール	高さ24×直径21.5	シルヴァ
21	円柱の花瓶	マルシアル・ペロ	1990	吹きガラス[ed.ギャルリー・ピエール・バスボン]	高さ45×直径25	シルヴァ
22	ランプ	ディディエ・コルニュー	1993	円錐形の吹きガラス2つ, 螺旋の金属, 銅の脚に電気の導線	高さ160×直径40	シルヴァ
23	3つの花瓶	エリク・ディートマン	1989	吹きガラス	3点組各高さ25×直径25	シルヴァ/作家
24	らせんのグラス	リシャール・ディ・ローザ	1991/2	吹きガラス[ed.ラル・モデスト]	高さ27×直径13	シルヴァ
25	花瓶 裸婦	リシャール・ディ・ローザ	1991/2	吹きガラス, 流し込みのガラスを熔着[ed.ラル・モデスト]	高さ43×直径19	シルヴァ
26	蝸の花瓶	リシャール・ディ・ローザ	1991/2	吹きガラス, アプリカシオン, 熔着[ed.ラル・モデスト]	高さ44×直径18	シルヴァ
27	煙草を吸うカップ	リシャール・ディ・ローザ	1991/2	吹きガラスと流し込みガラスの熔着, アプリカシオン[ed.ラル・モデスト]	高さ22×直径19	シルヴァ
28	花瓶 ラヴレター	シルヴェン・デュビュイソン	1988	吹きガラス(タリアピエトラ作), チューブはチタン製でレーザー光線による彫刻とレリーフ	高さ43×直径33	フランス国立現代美術基金
29	カラフェ マルセイユの水	シルヴェン・デュビュイソン	1990	型吹きガラス(クリスタル)[ed.ソシエテ・デ・オー・ド・マルセイユ]	50cl:高さ21×直径10 75cl:高さ24×直径12	シルヴァ
30	蔓の花瓶	マリー・デュカテ	1989	吹きガラス	高さ49×直径27	シルヴァ
31	黒い花瓶	マリー・デュカテ	1988	吹きガラス, サンドブラスト	高さ25×直径12	シルヴァ
32	花瓶	ハネケ・ホッケルマン	1992	吹きガラス	高さ58×直径22	作家
33	花瓶	オリヴィエ・ガニエール	1988	吹きガラス(タリアピエトラ作), ペンチと真鍮の薄板による成形	高さ40×直径24	フランス国立現代美術基金
34	花瓶 ゴルドーニ	エリザベト・ガールスト, マッチェア・ボネッティ	1988	吹きガラス(タリアピエトラ作), 熔着	高さ30×直径40	フランス国立現代美術基金
35	花瓶 パリ杯	マイケル・グランシー	1988	吹きガラス(タリアピエトラ作), 金箔片	高さ24×直径19.5	フランス国立現代美術基金
36	花瓶	ピオトル・コワルスキー	1989	吹きガラス(タリアピエトラ作)	高さ19×直径30	フランス国立現代美術基金
37	花瓶	フランソワ・モルレ	1989	プレス(クリスタル)[ドーム社製]	2分割, 全体21×21×21	フランス国立現代美術基金
38	プシュケ	パトリック・ナガール	1993	パート・ド・ヴェール, 吹きガラス, 砂台, 光源	ガラス 高さ150×奥行き10 砂の台 48×37×32	シルヴァ
39	62	ガエターノ・ペッシェ	1988/92	“ミストラル” エアガンでガラス粉末を吹付け加熱, サンドブラストによる艶消し	2点組 27×16×14.5 27.5×16.3×16.7	シルヴァ
40	デビュー	ガエターノ・ペッシェ	1988/92	“ヴェー・ポール” 砕いた色ガラス片を使ったフュージング	9×38.5×36.5	シルヴァ
41	大レリーフ	ガエターノ・ペッシェ	1988/92	“バステイス” 砕いた瓶を使ったフュージング	高さ21.3×直径64	シルヴァ
42	ヤスデ	ガエターノ・ペッシェ	1988/92	“ブラージュ” ガラス粉・粒を型で加熱成形, グラインダーによる艶消しと切込み	12×65×57	シルヴァ
43	大いなる黒	ガエターノ・ペッシェ	1988/92	“バステイス” 瓶によるフュージング	18×89.5×89	フランス国立現代美術基金
44	不可能な賭	ガエターノ・ペッシェ	1988/92	“ジョリエット” パール状ガラスを型の内面に付着して加熱	高さ10×直径90	シルヴァ/作家
45	灰色の帽子	ガエターノ・ペッシェ	1990	“ヴェー・ポール” 砕いた色ガラス片を使ったフュージング	27×51×39.8	シルヴァ/作家
46	イメージの花瓶	パトリック・レティフ	1988/89	吹きガラス(バイレックス), 熔着, 二重のガラスの間に絵ハガキを挿入	高さ18×直径12	フランス国立現代美術基金
47	花瓶 マルジーリア(マルセイユ)	ボレク・ジペク	1989	吹きガラス(タリアピエトラ作), 柄は熔着および接着	高さ62×直径33	シルヴァ

No.	作品名	作家名	制作年	素材, 技法	寸法 (cm)	所蔵先
48	花瓶 フランソワーズ	マルタン・ゼクリー	1988	吹きガラス, イタリアンテクニック “インカルモ”, 頸ははさみで切込み	高さ40×直径24	シルヴァ
49	花瓶	リノ・タリアピエトラ	1990	吹きガラス, イタリアンテクニック “インカルモ”	高さ40×直径15	フランス国立現代美術基金
50	花瓶 カランク(入江)	ディディエ・ティセイル	1989	工業ガラス, シリコンにより接着	32×42×20	フランス国立現代美術基金
51	花瓶	ローズマリー・トロッケル	1988	吹きガラス(パイレックス), ニレ 漆	高さ32.5×直径 29	フランス国立現代美術基金
52	火の要素 コンパクトな食事	オリヴィエ・ヴェドリン	1991	吹きガラス, 研磨	高さ24×直径22 (はめ込み式の皿 とカップ各3点)	フランス国立現代美術基金
53	「“シュウオップ邸(トルコ風ヴィラ) ル・コ ルビュジェ, 1916-17”の土止め壁の修 復」見本	シルヴァ(エベル財団のための フランソワ・ボノのプロジェクト)	1987	型吹きガラス	各13×23×12, 全体22点	
54	「装飾窓ガラス」見本	ガエターノ・ベッシェ	1992	“バステイス” 砕いた瓶を使った フュージング	各50×50, 全体2点	
55	「“南仏イエールのノアイユ邸, 建築: マ レット=ステューヴンス, ガラス: バリエ, 1928-90”の修復と改築」見本	建築: セシール・プリオーレ, ク ラウド・マロ, ジャック・ルピケ, ガラス: ポール・デュカテ	1989/90	型板ガラス	4点組, 全体約 70×40	
56	「“南仏コンクの聖フォア教会(ロマネスク 様式)のステンドグラス, ジャン=ドミニク・ フルーリ作, 11世紀”新制作」試作品	ピエール・スーラージュ	1993	パート・ド・ヴェールによる板ガラ ス	100×50	

所蔵作品展 Part 1

追悼・野村昭嘉展 化石化された〈太古・20世紀・未来〉

会期：1994(平成6)年12月10日－1995(平成7)年1月16日 (26日間)

会場：展示室B・C, 展示ロビー

主催：目黒区美術館

協力：(株)絵画保存研究所, LA CAMERA

出品構成協力・資料提供：野村李加

担当学芸員：正木 基

同時開催：所蔵作品展 Part 2 戦後児童画の一断面展, 所蔵作品展 Part 3 目黒区美術館所蔵作品展

野村昭嘉は、1991年3月に不慮の事故に巻き込まれ、26歳の若さでなくなった作家である。パイプや電動鋸を思わせる無機的な事物と鯨や人の顔などの有機的事物を組み合わせたどこか未来的なイメージを、シェル・マチエールを使用した古代壁画を思わせる画面に描き出した。そこには、〈太古と、未来とを、同一の次元に引き出して、それらのモノを共存させることによって得られる奇妙な懐かしさ〉が湛えられている。本展は、事故の際に破損し、(株)絵画保存研究所により修復された代表作を含むタブロー21点のほか、未発表水彩、素描約80点のほか、多数の挿絵、制作ノートなどの資料、さらには修復過程のパネルや修復によってあきらかになった特異な技法を示すパネルも展示した。

●カタログ

寸法：21.0×14.8cm

ページ数：24ページ(表紙・裏表紙とも)

内容：《追悼・野村昭嘉展》に際して(加藤貞雄)／共存する太古と未来(野村昭嘉)／図版／未来の向こうの海の密議(倉林靖)／参考文献／野村昭嘉略年譜／出品リスト

●ポスター

サイズ：B3(戦後児童画の一断面展, 所蔵作品展と共通)

●チラシ

サイズ：25.7×18.0cm(戦後児童画の一断面展, 所蔵作品展と共通)

●主要関連記事

発掘のメカニズム 美術館ゆえの困難を乗り越えて 小川敦生, 鶴岡弘之, 塩崎浩子 につけいあーと 1994年7月号
遺作の集大成展 破損の数点も修復 死亡の画家・野村さん 毎日新聞(とうきょう版) 1994年12月10日
漫画家・西原理恵子が豪語 彼が亡くなったのは、日本の芸術の大きな損失 ぴあ 1994年12月13日
立川でくい打ち機転倒まきぞえ 命とともに粉々の絵 修復し追悼展 朝日新聞(むさしの版) 1994年12月15日
夭折した画家 大西赤人 東京中日スポーツ 1994年12月20日
画中世界に誘われて逝く雲と波に戯れる奇怪物体 ワシオトシヒコ 公明新聞 1994年12月24日
26歳で夭折した画家 追悼・野村昭嘉展 アサヒタウンズ(多摩版) 1995年1月7日
説得力持つ「記憶の素形」追悼・野村昭嘉展 朝日新聞 1995年1月9日

不慮の死……4年後の才能開花 立川市の野村昭嘉さん 目黒区美術館で遺作展 産経新聞(多摩版) 1995年1月13日

奇妙な懐かしさ漂う世界 東京で野村昭嘉さんの追悼展 佐賀新聞 1995年1月18日

早世の画家 高まる評価 諸富町出身の野村さん 東京での追悼展に人気 朝日新聞(佐賀版) 1995年1月25日



会場風景

出品目録

No	作品名	制作年	素材/技法	寸法(cm)	展覧会歴	所蔵先
1	不詳 1*	1986	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	29.8×29.8		佐賀県立美術館
2	雲の製造 I	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	103.0×72.8		佐賀県立美術館
3	雲の製造 II	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	103.0×72.8	JACA'88日本イラストレーション展銅賞	佐賀県立美術館
4	不詳 4*	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	69.9×70.4		
5	雨雲の柩 I*	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	72.6×60.4		
6	雨雲の柩 II*	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	72.4×60.4		佐賀県立美術館
7	不詳 7	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	53.0×45.5		佐賀県立美術館
8	不詳 8	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	53.0×45.5		佐賀県立美術館
9	不詳 9*	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	22.1×27.4		
10	不詳 10	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	45.5×38.0		
11	不詳 11	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	40.0×32.6		
12	不詳 12	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	53.0×45.3		個人
13	不詳 13	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	53.0×45.5		
14	不詳 14	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	59.4×42.0		佐賀県立美術館
15	不詳 15	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	22.1×54.7		個人
16	不詳 16	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	18.0×14.0		
17	不詳 17	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	18.0×14.0		
18	不詳 18	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	22.6×15.7		
19	不詳 19*	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	22.0×27.2		
20	不詳 20	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	19.0×14.0		
21	不詳 21	1988	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	29.5×84.0		個人
22	不詳 22*	1989	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	25.7×72.8		佐賀県立美術館
23	不詳 23*	1989	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	72.0×327.3	TSA東京芸術専門学校卒業制作展	佐賀県立美術館
24	不詳 24*	1989	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	72.6×103.7		
25	不詳 25*	1989	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	72.8×101.5		
26	不詳 26*	1989	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	72.8×103.0		
27	不詳 27*	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	25.4×72.9		
28	不詳 28*	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	19.5×64.0		
29	不詳 29*	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	27.0×77.5		佐賀県立美術館
30	不詳 30	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	30.0×30.0		佐賀県立美術館
31	不詳 31	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	41.0×31.8		
32	不詳 32*	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	30.1×30.1		
33	不詳 33*	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	72.8×102.9		
34	Amosu Norle	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	91.5×115.0	第2回リキテックスピエンナーレ展	佐賀県立美術館
35	不詳 35*	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	91.6×90.0		佐賀県立美術館
36	不詳 36*	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	58.0×52.0		佐賀県立美術館
37	不詳 37*	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	55.9×58.0		
38	Oeret	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	130.5×162.5	第14回九州青年美術公募展奨励賞	佐賀県立美術館
39	不詳 39*	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	41.0×31.8		
40~52	不詳 40~52	1990	アクリル/シェル・マチエール下地/合板	27.0×47.0~92.0	JACA'90日本イラストレーション展招待	
53	不詳(所蔵先不明作品/写真パネル)	1989			第5回コンテンポラリーアートエキスポ東京'89金賞受賞	

54~134 アクリルによる試作, 水彩による試作, 鉛筆による試作, インクによる試作など80点

その他 制作ノート, 装丁本, 挿絵, 展覧会記事等資料, 制作技法パネル, 画材, 修復記録パネルなど出品

註: 作品名の後の*印は, (株)絵画保存研究所による修復作品であることを示す。

所蔵作品展 Part 2

戦後児童画の一断面展-多古子供アトリエと読売アンデパンダン展

会期：1994(平成6)年12月10日—1995(平成7)年1月16日 (26日間)

会場：エントランスホール，ワークショップ

主催：目黒区美術館

協力：多古子供アトリエ児童美術館

担当学芸員：正木 基

同時開催：所蔵作品展 Part 1 野村昭嘉展，所蔵作品展 Part 3 目黒区美術館所蔵作品展

1950年，多古子供アトリエは，千葉県香取郡多古町に小学校1年から4年までの児童30名を集めて開設された。同アトリエは1952年から54年にかけて，読売アンデパンダン展に児童たちの共同制作の作品を出品，瑛九，鶴岡政男らの作家や瀧口修造，植村鷹千代らの評論家の注目を集めた。児童が大人のまなざしや技法によるのではなく，自身のういいういしいまなざしで現実を見据え，対象化した作品は，学校生活，家庭生活，社会生活，さらには人間関係といった現実的な諸問題との接点を示し，児童に対する美術教育のあり方，児童の美術における社会との関係についての模索のひとつの貴重な実践となっている。本展は多古子供アトリエ児童美術館の協力を得て，読売アンデパンダン展とタケミヤ画廊におけるアトリエ展での発表作を中心に計55点で構成，戦後児童画の今日的意味を問うた。

●カタログ

寸法：21.0×14.8cm

ページ数：16ページ(表紙・裏表紙とも)

内容：多古子供アトリエ1950年代の実践について(池田栄)／池田栄略年譜／図版／多古子供アトリエと戦後児童画(正木基)／

出品リスト

●ポスター

サイズ：B3(野村昭嘉展，所蔵作品展と共通)

●チラシ

サイズ：25.7×18.0cm(野村昭嘉展，所蔵作品展と共通)

●主要関連記事

戦後児童美術の一断面展 アバンギャルド精神と児童画 東京新聞 1994年12月6日

気になる展覧会② 見えてくる「指導」の方向性 伴田良輔 東京人 1995年2月号

Exhibition Review 戦後児童画の一断面展 安斎千鶴子 BT 1995年3月号



1994年12月10日(土)—1995年1月16日(月) 目黒区美術館 千153 目黒区目黒2-4-36
11月15日(土)開演(開演時間)17時30分—19時30分(18時開演) 目黒区美術館 千153 目黒区目黒2-4-36
〒153-8501 目黒区目黒2-4-36 電話 03-3711-1201(受付) 03-3711-1201(受付) FAX 03-3711-1201(受付)
※11月15日(土)開演(開演時間)17時30分—19時30分(18時開演) ※11月15日(土)開演(開演時間)17時30分—19時30分(18時開演)
同時開催：目黒区美術館所蔵作品展—戦後美術展
会場：目黒区美術館(目黒区目黒三丁目一丁目) 目黒区目黒三丁目一丁目(目黒区目黒三丁目一丁目) 目黒区目黒三丁目一丁目(目黒区目黒三丁目一丁目) 目黒区目黒三丁目一丁目(目黒区目黒三丁目一丁目)

B3ポスター



会場風景

出品目録

No	作家名	作品名	制作年(制作時年齢)	素材, 技法	寸法(cm)	展覧会歴
1	勝又豊子	宇宙*	1950年(9歳)	クレヨン, 紙	20.5×29.0	アトリエ展(タケミヤ画廊)
2	勝又豊子	花と鳥*	1950年(9歳)	クレヨン, 紙	29.0×20.5	アトリエ展(タケミヤ画廊)
3	勝又豊子	楽しい台所	1950年(9歳)	クレヨン, 紙	36.3×25.3	アトリエ展(タケミヤ画廊)
4	勝又豊子	自転車のベルに写ったかたち*	1950年(9歳)	クレヨン, 紙	35.6×25.0	アトリエ展(タケミヤ画廊)
5	勝又豊子	ふたつの顔*	1950年(9歳)	クレヨン, 紙	27.7×21.5	アトリエ展(タケミヤ画廊)
6	勝又豊子	海底の快物	1951年(10歳)	水彩, 紙	28.7×20.0	
7	勝又豊子	女の子	1951年(10歳)	水彩, 紙	25.1×17.7	
8	勝又豊子	せい物	1951年(10歳)	水彩, 紙	14.5×20.6	
9	勝又豊子	ていりゅじょへとまったバス	1951年(10歳)	水彩, 紙	14.3×20.5	
10	勝又豊子	手へにぎったアイスボンボン	1951年(10歳)	水彩, 紙	14.3×20.5	
11	勝又豊子	牧場	1951年(10歳)	水彩, 紙	37.5×53.7	アトリエ展(タケミヤ画廊)
12	勝又豊子	びん*	1951年(10歳)	水彩, 紙	25.0×36.0	アトリエ展(タケミヤ画廊)
13	勝又豊子	うつる人*	1951年(10歳)	水彩, 紙	29.0×20.5	
14	勝又豊子	ふたり*	1951年(10歳)	水彩, 紙	20.5×29.0	
15	勝又豊子	人*	1952年(11歳)	油彩, 紙	54.5×39.3	
16	勝又豊子	海辺の風景*	1952年(11歳)	油彩, ボール紙	52.5×40.0	
17	郡司紀代子	絵と私*	1950年(9歳)	クレヨン, 紙	29.0×20.5	アトリエ展(タケミヤ画廊)
18	郡司紀代子	かたち	1950年(9歳)	クレヨン, 紙	20.5×28.8	アトリエ展(タケミヤ画廊)
19	郡司紀代子	鳥	1951年(10歳)	クレヨン, 水彩, 紙	28.8×20.5	アトリエ展(タケミヤ画廊)
20	郡司紀代子	夕日(1)	1951年(10歳)	水彩, 紙	25.1×36.0	アトリエ展(タケミヤ画廊)
21	郡司紀代子	夕日(2)	1951年(10歳)	水彩, 紙	25.8×37.3	アトリエ展(タケミヤ画廊)
22	郡司紀代子	夕日(3)	1951年(10歳)	水彩, 紙	25.8×37.3	アトリエ展(タケミヤ画廊)
23	郡司紀代子	お話のひとつ	1951年(11歳)	油彩, 紙	39.0×54.5	アトリエ展(タケミヤ画廊)
24	郡司紀代子	樹木	1952年(12歳)	油彩, 紙	39.0×54.5	
25	郡司紀代子	世の中	1952年(12歳)	油彩, ボール紙	21.7×27.3	
26	平山まつ	光	1950年(9歳)	クレヨン, 紙	26.0×36.0	アトリエ展(タケミヤ画廊)
27	平山まつ	実験室	1950年(9歳)	クレヨン, 紙	21.7×31.0	アトリエ展(タケミヤ画廊)
28	平山まつ	台所	1950年(9歳)	クレヨン, 紙	29.0×20.5	アトリエ展(タケミヤ画廊)
29	平山まつ	風景	1951年(10歳)	水彩, 紙	35.5×25.2	
30	平山まつ	子どもの遊び	1951年(10歳)	水彩, 紙	30.8×43.0	アトリエ展(タケミヤ画廊)
31	平山まつ	土の中の人	1951年(10歳)	水彩, 紙	27.0×18.6	アトリエ展(タケミヤ画廊)
32	平山まつ	泣いている子	1951年(10歳)	クレヨン, 水彩, 紙	53.6×37.5	アトリエ展(タケミヤ画廊)
33	平山まつ	机に倚る	1952年(11歳)	油彩, 紙	22.0×16.0	アトリエ展(タケミヤ画廊)
34	平山まつ	芽生え*	1952年(11歳)	油彩, 紙	31.5×40.5	
35	平山まつ	燃える*	1952年(11歳)	油彩, 紙	31.5×40.3	
36	平山まつ	街*	1952年(11歳)	油彩, 紙	40.5×60.5	
37	江幡正之	ばけもの	1951年(8歳)	油彩, ボール紙	60.0×45.5	アトリエ展(タケミヤ画廊)
38	江幡正之	坂道	1952年(9歳)	油彩, ボール紙	49.0×41.0	

No	作家名	作品名	制作年(制作時年齢)	素材, 技法	寸法(cm)	展覧会歴
39	江幡正之	功名争い	1953年(10歳)	油彩, キャンバス	45.5×60.5	
40	勝又豊子	静物(びん)	1952年(11歳)	油彩, キャンバス	53.3×73.0	
41	勝又豊子	アトリエの生活	1953年(12歳)	油彩, キャンバス	60.5×72.2	
42	郡司紀代子	横浜港のイメージ	1953年(12歳)	油彩, キャンバス	50.0×65.0	
43	郡司紀代子	海底	1953年(12歳)	油彩, キャンバス	53.0×73.0	
44	平山まつ	風景	1952年(11歳)	油彩, キャンバス	33.0×45.5	
45	平山まつ	都会のイメージ	1953年(12歳)	油彩, キャンバス	33.5×34.0(?)	
46	平山まつ	横浜のイメージ	1953年(12歳)	油彩, キャンバス	50.0×65.5	
47	平山まつ	やぎのいる風景	1954年(12歳)	油彩, キャンバス	41.0×60.5	
48	勝又堯男	木星号の墜落	1953年(15歳)	油彩, キャンバス	60.5×80.5	
49	勝又堯男	カッパの見た東京 焼けた東京の 未来図, それとも人間は?	1953(15歳)	油彩, キャンバス	32.0×41.0	
50	小池弘子	夢の中の少女	1953年(10歳)	油彩, キャンバス	27.5×21.3	
51	小池弘子	私の家族	1953年(11歳)	油彩, キャンバス	60.8×50.0	
52	共同制作(勝又堯男・江幡 正之)	脱出	1953年	油彩, キャンバス	181.5×181.5	第5回読売アンデパンダン展
53	共同制作(勝又豊子・郡司 紀代子・平山まつ)	共同による即興曲	1953	油彩, キャンバス	181.5×272.5	第5回読売アンデパンダン展
54	共同制作(小池弘子・岡田 波津子)	私たちの遊び	1953	油彩, キャンバス	181.5×181.5	第5回読売アンデパンダン展
55	共同制作(勝又堯男・江幡 正之・小池弘子)	カッパの世界	1954	油彩, キャンバス	181.5×181.5	第6回読売アンデパンダン展

註:作品名のあとの*印は, 本展開催にあたり付した仮称であることを示す。

所蔵作品展 Part 3

目黒区美術館所蔵作品展—戦後美術篇

会期：1994(平成6)年12月10日—1995(平成7)年1月16日 (26日間)

会場：A展示室

主催：目黒区美術館

担当学芸員：正木 基

同時開催：所蔵作品展 Part 1 野村昭嘉展，所蔵作品展 Part 2 戦後児童画の一断面展

目黒区美術館がこれまでに収集した作品の中から、基本的に横幅2m以上の大作で、日本戦後美術を断片的に回顧する。普通、大作は、部分から全体へと組み立て、そこに寸分のスキや緩みを許さないことに着眼し、作品の成り立ちにおける部分と全体、さらにはそれが展示される空間との関係を、約20点の展示から読み取ろうとする試み。

●ポスター

サイズ：B3(野村昭嘉展，戦後児童画の一断面展と共通)

●チラシ

サイズ：25.7×18.0cm(野村昭嘉展，戦後児童画の一断面展と共通)



会場風景

出品目録

No	作家名	作品名	制作年	素材, 技法	寸法(cm)
1	巖嘔	虹のエンバイラメント	1962	油彩, キャンバス	177.0×522.0
2	磯辺行久	Work-65	1965	油彩, 大理石, 紙, 木, 紐	182.6×363.2×6.5
3	草間彌生	無限の網B	1964	アクリル, キャンバス	194.0×390.0
4	草間彌生	鏡の部屋-愛は永遠に(NO.3)	1964	布, 綿, 塗料, 木, 鏡, 電球他	75.0×75.0×170.0
5	岡田謙三	竹	1959	油彩, キャンバス	185.5×222.2
6	白髪一雄	赤帝	1967	油彩, キャンバス	182.0×257.5
7	篠原有司男	コニーアイランド遊園地	1974	アクリル, キャンバス	191.0×241.0
8	下村良之介	鳥たちの壁 A	1964	紙粘土, 顔料, 紙, 合板	181.0×545.0
9	下村良之介	鳥たちの壁 B	1964	紙粘土, 顔料, 紙, 合板	182.0×268.8
10	星野真吾	喪中の作品(赤)	1964	岩絵具, 箔, 和紙	182.0×91.0
11	星野真吾	喪中の作品(白)	1964	岩絵具, 箔, 和紙	182.6×91.2
12	星野真吾	喪中の作品(碧)	1964	岩絵具, 箔, 和紙	183.0×122.5
13	宇佐美圭司	ゴースト・プラン・イン・プロセス I ~IV	1972	アクリル, 木	500ピース
14	宇佐美圭司	プロフィールのこだま:積層	1976	油彩, キャンバス	214.0×196.0
15	高松次郎	写真の写真	1973~1991	写真, 紙	各45.5×55.7 (45枚1組)
16	堀浩哉	嵐の声-14	1989	アクリル, 岩絵具, 墨, キャンバス, 和紙	227.3×546.0
17	諏訪直樹	無限連鎖する絵画 Part 2	1989	アクリル, キャンバス, パネル	180.0×2230.0
18	住川忠夫	三つの正方形 A~H	1982年頃	アクリル, キャンバス	各110.0×110.0 (8点1組)
19	木下晋	無-I	1992	鉛筆, ケント紙	165.0×99.5
20	木下晋	無-II	1992	鉛筆, ケント紙	165.0×99.5
21	木下晋	無-III	1992	鉛筆, ケント紙	165.0×99.5

めぐろの子どもたち展 平成6年度目黒区立幼稚園，小中学校連合展覧会

会期：1995(平成7)年1月21日—2月5日 (14日間)

会場：展示室A・B・C，展示ロビー，ワークショップ，エントランスホール

主催：目黒区立幼稚園長会，同小学校長会，同中学校長会，同心身障害学級設置校長会，目黒区教育会，目黒区美術館，目黒区教育委員会

同時開催：北京市崇文区児童・生徒書画作品展(区民ギャラリー)

目黒区立の幼稚園・小学校・中学校・心身障害学級の幼児・児童・生徒が平成6年度に制作した作品を展示した。創作・鑑賞活動をとおして，幼児・児童・生徒の表現意欲に応え，豊かな人間性を育む情操教育の一助となることをめざすとともに，区民の方々に広く供し，目黒区の教育に対する一層のご理解を得られるように努めた。

なお，今年度は，目黒区と北京市崇文区との友好協力事業の一環として，崇文区の児童・生徒の作品を区民ギャラリーに展示した。

●リーフレット

寸法：A3(縦長四つ折)

内容：ごあいさつ(主催者)／幼稚園／心身障害学級／小学校／中学校・美術／中学校・書写／北京市崇文区児童・生徒書画作品展／展示室案内

●ポスター

サイズ：B3

●出展数：2,422点



会場風景



B3ポスター



会場風景

目黒区の美術・書——1994

会期：1995(平成7)年2月11日—3月5日 (20日間)

会場：展示室A・B・C, 展示ロビー, ワークシップ, エントランスホール, 区民ギャラリー

主催：目黒区美術館

本展は、目黒区在住・在勤の美術家・書家の方々が過去1年間の間に制作し、公募展や個展に出品された作品を、ジャンル・会派・団体を越え、一堂に会して展覧することで、目黒区の美術・書の現況を概観しようとする展覧会である。6回目を迎えた本年は総計177作家の作品が出品され、目黒区における美術と書の制作活動の活況をあかす充実した展覧会となり好評であった。

●カタログ

寸法：25.6×19.0cm

ページ数：100ページ

内容：ごあいさつ(加藤貞雄)／図版／作家名索引

●ポスター

サイズ：B3

●チラシ

サイズ：B5



会場風景

MEGURO ART ANNUAL 1994



B3ポスター

目黒区在住の作家が1994年に、
公募・公募展に発表した作品を中心に紹介。

1995年2月11日(土)～3月5日(日)

※観覧時間：午前10時(入館は午後5時30分まで) 日曜休館

目黒区美術館 目黒区西目黒2-4-26

TEL 03(57) 27001 FAX 03(57) 01031

主催：目黒区美術館

協賛：目黒区教育委員会、目黒区文化振興会、目黒区民会館、目黒区民センター、目黒区民会館、目黒区民センター

観覧料=無料



会場風景

出品目録

No	作家名	作品名	素材, 技法	寸法 (cm)	展覧会歴
●油彩等					
1	相原吉夫	桃源の里	油彩, キャンバス	90.9×167.7	
2	青木邦子	花のあるレストラン	油彩, キャンバス	158.0×122.0	第47回示現会展(1994.4.6-4.21) 東京都美術館
3	青山 孝	海の旋律	油彩, キャンバス	162.0×162.0	独立展(1994.10.16-10.31) 東京都美術館
4	赤穴桂子	ラピスラズリ(イエーツによる)	油彩, キャンバス	91.0×91.0	赤穴桂子個展(1994.11.29-12.8) 美術ジャーナル画廊
5	赤穴 宏	朱の記憶	油彩, キャンバス	130.3×130.3	第58回新制作展(1994.9.18-10.3) 東京都美術館
6	浅見千恵子	郷愁	油彩, キャンバス	134.0×165.0	第90回記念太平洋展 (1994.5.16-5.30) 東京都美術館
7	渥美澄子	アトリエの一隅	油彩, キャンバス	155.2×122.7	第47回示現会展(1994.4.6-4.21) 東京都美術館
8	天野政雄	ある舞踏家の像 死と少女	油彩, キャンバス	162.1×130.3	第66回新構造展(1994.6.12-6.22) 東京都美術館・都知事賞
9	有本一美	PLEROMA	油彩, キャンバス	193.9×97.0	有本一美展-PLEROMA- (1994.10.17-10.22) 藍画廊
10	一柳 幸	古城	油彩, キャンバス	93.1×119.2	第18回新日美展(1994.12.13-12.18) 東京都美術館
11	井上早枝子	ふたり	油彩, キャンバス	130.0×162.0	第48回女流画家協会展(1994.5.21-5.30) 東京都美術館
12	井上 慎	造成地	油彩, キャンバス	162.2×130.3	杜人展(1994.9.5-9.11) 東京セントラルアネックス(銀座)
13	上間尚子	紅型衣装の女	油彩, キャンバス	72.7×91.0	上間尚子展(1994.4.19-4.24) 那覇市民ギャラリー
14	牛込眞智子	五月	油彩, キャンバス	163.0×130.0	第19回新芸術展(1994.11.25-12.1) 東京都美術館・準会員奨励賞
15	内田千代子	minus relation-f	アクリル, キャンバス	130.0×162.0	第16回エンバ美術コンクール(1993.10.10-12.13) エンバ中国近代美術館
16	越後瑤子	調べ	油彩, キャンバス	161.0×130.0	第66回新構造展(1994.6.12-6.22) 東京都美術館
17	太田冬美	森	油彩, キャンバス	130.3×89.4	太田冬美展(1994.11.23-11.29) 名古屋三越栄本店特選画廊
18	大塚荘治	光華	油彩, キャンバス	116.8×91.0	第90回記念太平洋展(1994.5.20-5.30) 東京都美術館
19	大淵繁樹	長崎の灯	油彩, キャンバス	130.3×162.0	第26回日展(1994.11.2-11.24) 東京都美術館
20	岡田美年子	蔵出し	油彩, キャンバス	145.0×112.0	匠玄会展(1994.5.21-5.30) 東京都美術館
21	岡田征彦	Dancer I	油彩, キャンバス	194.0×130.0	第26回日展(1994.11.2-11.24) 東京都美術館
22	小河美智子	卓上の静物	油彩, キャンバス	97.0×130.3	第70回記念白日展(1994.3.26-4.4) 東京都美術館
23	荻野藤枝	ななかまど	油彩, キャンバス	162.0×130.0	日輝展(1994.12.8-12.13) 東京都美術館
24	長部朝子	響	アクリル, キャンバス	135.0×167.0	第33回大調和会展(1994.3.14-3.24) 東京都美術館
25	小野のり子	風	油彩, キャンバス	112.1×145.5	第60回東光展(1994.4.23-5.7) 東京都美術館
26	甲斐鉄男	神々の里高千穂峡	油彩, キャンバス	141.0×172.8	
27	片山ともみ	タヒチの夢	油彩, キャンバス	90.9×116.7	
28	香取栄次郎	上目黒散策	油彩, キャンバス	116.7×90.9	第66回新構造展(1994.6.12-6.22) 東京都美術館
29	河内 光	人・人・ひと…	銅板	162.0×194.0	第58回新制作展(1994.9.18-10.3) 東京都美術館
30	木川満子	アトリエの一角	油彩, 麻布, キャンバス	116.0×116.0	
31	糸川 清	二つの埴輪	油彩, キャンバス	130.3×162.1	第56回一水会展(1994.9.18-10.3) 東京都美術館・佳作賞

No	作家名	作品名	素材, 技法	寸法(cm)	展覧会歴
32	黒沢悟郎	The Merciful Goddess (観音・ポルブドウル)	油彩, キャンバス	130.0×93.0	
33	小園ケイ子	いのちの樹Ⅶ	油彩, 麻布	162.1×130.3	いのちの樹・メタモルフォーゼ 小園ケイ子展 (1994.9.19-9.25) ギャラリーミハラヤ(銀座)
34	小堀幸子	山里の風	油彩, キャンバス	116.7×90.9	第29回一期会展(1994.8.20-8.30) 東京都美術館
35	古茂田美津子	まつり	油彩, キャンバス	194.0×130.3	第58回新制作展(1994.9.18-10.3) 東京都美術館
36	後藤岳楓	追想	油彩, キャンバス	130.3×97.0	第33回大調和展(1994.3.14-3.24) 東京都美術館
37	斎藤勤也	人物	油彩, キャンバス	162.1×130.3	自由美術協会展(1994.10.16-10.31) 東京都美術館
38	佐藤徳一	葡萄畑(ポルドー)	油彩, キャンバス	109.0×142.5	第19回関東全展(1994.6.7-6.12) 千葉県立美術館 江東美術賞
39	佐野美喜男	現風景	油彩, 板	130.3×162.2	美術文化展(1994.3.26-4.4) 東京都美術館
40	佐野雪枝	初秋	油彩, キャンバス	162.1×130.3	一線展(1994.10.5-10.14) 東京都美術館
41	澤野水纒	IRIDESCENT	油彩, 麻布	127.0×183.0 (額なしの寸法)	澤野水纒個展(1994.5.4-6.4) ハモンド美術館(ニューヨーク)
42	柴原 雪	多系の和	油彩, キャンバス	112.1×145.5	第30回亜細亜現代美術展(1994.6.11-6.22) 東京都美術館
43	進藤幹弘	待春(林試の森)	油彩, キャンバス	112.1×145.5	攀展(1994.9.18-9.25) 銀座アートギャラリー
44	菅田いな	裸婦	油彩, キャンバス	150.0×100.0	
45	菅野利彦	ラブルール嶺	油彩, キャンバス	130.0×67.0	目黒区美術家協会展(1994.8.16-8.21) 目黒区美術館区民ギャラリー
46	杉山栄吉	春のプラハ城	油彩, キャンバス	90.6×117.0	北斗会展(1994.5.22-5.28) 東京交通会館ゴールドサロン
47	瀬川智貴	風景(サントリーニ)	油彩, キャンバス	145.5×145.5	
48	瀬谷貴久枝	play	油彩, キャンバス	162.0×162.0	珊瑚展(1994.1.10-1.15) 望月画廊
49	芹澤恭子	子育て地藏	油彩, キャンバス	106.0×132.0	第63回朔日会展(1994.5.9-5.19) 東京都美術館
50	高山和子	青い風	油彩, キャンバス	90.9×116.7	たぶろう展(1994.5.31-6.10) 東京都美術館 佳作賞
51	田口正子	ラ・メール	油彩, キャンバス	145.5×145.5	個展(1994.8.25-8.30) まちだ東急百貨店
52	田中正義	フィレンツェ	油彩, キャンバス	112.1×145.5	第33回大調和展(1994.3.14-3.24) 東京都美術館
53	種房ひさ子	舞妓	油彩, キャンバス	162.1×130.3	第47回示現会展(1994.4.6-4.22) 東京都美術館
54	田村由利子	帰港	油彩, キャンバス	140.3×172.2	第16回一創会展(1994.3.8-3.14) 大阪市立美術館 大阪市長賞
55	大工原武司	鳶群れる里	油彩, キャンバス	130.3×162.1	第53回創元展(1994.4.7-4.21) 東京都美術館
56	大聖寺宏	神セレモニー	油彩, キャンバス	72.7×90.9	第14回彩玄展(1994.10.30-11.5) 東京交通会館ギャラリー
57	寺内暁子	布のある静物	油彩, キャンバス	91.0×72.7	第16回清興展(1994.12.13-12.18) 東京都美術館
58	戸田芳江	樹・讀	油彩, キャンバス	90.0×107.0	群炎展(1994.2.13-2.26) 東京都美術館
59	土肥 朗	刻	油彩, キャンバス	162.1×130.3	第47回示現会展(1994.4.6-4.21) 東京都美術館 安田火災美術財団奨励賞
60	中井幸一	連作・少年の眼	アクリル, キャンバス, 印刷インク	100.0×218.4	モダンアート協会展(1994.4.6-4.21) 東京都美術館
61	成井 弘	初夏コメノ(ギリシャ)	油彩, キャンバス	100.0×145.0	二紀展(1994.3.1-8.14) 福岡市美術館 他
62	西 大記	サランコット	アクリル, キャンバス	97.0×130.3	二紀選抜展(1994.4.26-5.1) セントラル美術館

No	作家名	作品名	素材、技法	寸法(cm)	展覧会歴
63	西川加耶子	赤い扉の前の静物	油彩, キャンバス	90.9×116.7	第70回記念白日展(1994.3.26-4.4) 東京都美術館
64	入海佐世子	憩い	油彩, キャンバス	78.0×96.0	第66回新構造展(1994.6.12-6.22) 東京都美術館
65	芳賀 力	2人のフラメンコダンサー	油彩, キャンバス	112.1×145.5	無花果会展(1994.10.1-10.8) IMAギャラリー
66	橋本百合子	或るひと	油彩, キャンバス	145.5×112.1	
67	長谷川政子	朝市(チュニジア)	油彩, キャンバス	130.3×162.2	立軌会展(1994.2.9-2.20) 東京セントラル美術館
68	原 久子	猫と階段	油彩, キャンバス	150.0×117.0	第8回日洋展(1994.7.20-7.23) 上野の森美術館
69	原 正明	時計塔のある風景(スイス)	油彩, キャンバス	130.0×90.0	
70	平松 譲	東京湾 春	油彩, キャンバス	90.9×116.7	第70回記念白日展(1994.3.26-4.4) 東京都美術館
71	本目勇市	幻想クラゲシリーズ	油彩, キャンバス	112.1×145.5	第66回新構造展(1994.6.12-6.22) 東京都美術館
72	松永茂樹	スペインの街の風景	油彩, キャンバス	112.1×145.5	二紀展(1994.10.16-10.30) 東京都美術館
73	丸毛利久	タオルミナ	油彩, キャンバス	112.1×145.5	第90回記念太平洋展(1994.5.20-5.30) 東京都美術館
74	宮出 武	崖の上の修道院	油彩, キャンバス	100.0×132.0	第27回等遡展(1994.12.5-12.12) 東京都美術館
75	村上彌生	本を読む女 ^{ひと}	油彩, キャンバス	145.5×112.1	都展(1994.12.6-12.12) 東京都美術館
76	茂木すみ子	卓上静物	油彩, キャンバス	128.0×96.0	皇玄会展(1994.5.21-5.30) 東京都美術館
77	森田万樹	風の軌跡	油彩, キャンバス	162.0×130.3	モダンアート協会展(1994.4.6-4.21) 東京都美術館
78	柳瀬俊泰	連続した毎日と夜の窓	油彩, キャンバス	145.3×177.0	第26回日展(1994.11.2-11.24) 東京都美術館
79	山内恵美子	織りなすもの	油彩, キャンバス	162.0×162.0	第48回女流画家協会展(1994.5.21-5.30) 東京都美術館
80	山中真貴子	1994 Numero 2	油彩, キャンバス	139.9×259.1	第58回新制作展(1994.9.18-10.3) 東京都美術館
81	山本道子	女たち	油彩, キャンバス	162.0×130.3	第8回日洋展(1994.7.20-7.23) 上野の森美術館
●日本画					
82	浅野セツ	ひまわり	麻紙	79.0×67.0	
83	荒井華秋	近代文学博物館	紙本墨彩	162.2×130.5	第33回日本南画院展(1993.3.14-3.24) 東京都美術館
84	飯田裕子	華・華	麻紙	115.5×163.5	第27回日本水墨画展(1994.3.13-3.24) 東京都美術館・奨励賞
85	市川登孟胡	舞	紙本着彩	150.0×230.0	第47回創造展(1994.6.1-6.10) 東京都美術館
86	岩田染華	しだれ桜	紙本墨彩	130.3×97.0	第9回日本水墨院展(1994.7.21-7.26) 朝日生命ギャラリー
87	岩本美代子	静物	紙本着彩	194.0×130.0	日本画院展(1994.5.8-5.19) 東京都美術館
88	加々路伸子	瀧江暮色	和紙	72.0×84.0	パピルス紙画グループ展(1994.6.7-6.13) 田中八重洲画廊
89	佐野司山	長恨歌	屏風2曲	76.5×108.0	第6回国際美術大賞展(1994.8.1-8.7) 東京都芸術劇場
90	澤井白陽	風	紙本墨彩	130.0×194.0	第33回日本南画院展(1993.3.14-3.24) 東京都美術館
91	菅田 渡	能登稲架木舟	紙本着彩	130.3×193.9	第41回新美術協会展(1994.6.1-6.10) 東京都美術館・会員佳作賞
92	橘 熙子	文楽	紙本墨彩	130.3×193.9	現代水墨画協会展(1994.10.5-10.14) 東京都美術館・佳作賞
93	田中玉紅	晩秋	絹本着彩	53.0×72.7	カトリック美術家協会展(1994.5.6-5.11) 朝日ギャラリー
94	土屋あづみ	ふるさと	紙本着彩	130.3×89.4	第29回日春展(1994.4.6-4.18) 東京銀座松屋
95	中島善子	朱夏	紙本着彩	113.0×146.0	都展(1994.12.6-12.12) 東京都美術館

No	作家名	作品名	素材, 技法	寸法 (cm)	展覧会歴
96	中村裕子	秋韻	紙本, 和紙	162.1×130.3	第41回新美術協会展(1994.6.1-6.10) 東京都美術館
97	西村和子	ダリヤ	紙本着彩	90.9×116.7	東京都民美術展(1994.12.6-12.12) 東京都美術館
98	山井梅代	クレマチス	紙本着彩	90.9×65.1	翔の会展(1994.6.7-6.12) 洋協アートセンター
99	吉田米子	艸紅葉	和紙, ボード	70.5×95.0	パピルス紙画グループ展(1994.6.7-6.13) 田中八重洲画廊
●水彩等					
100	板津陽子	ゆかたの女	水彩, 紙	72.2×64.7	
101	小代三保子	めばえ	水彩, 紙	97.0×130.3	第53回水彩連盟展(1994.3.26-4.4) 東京都美術館
102	町田厚子	Landscape	インク, 紙	38.0×54.0	
103	水谷仁美	花の舞	水彩, 紙	123.0×123.0	第40回一陽展(1994.9.18-10.3) 東京都美術館(会員推挙作品)
104	宮本和也	希望と不安	水彩, 紙	56.0×73.0	宮本和也作品展(1994.10.29-11.4) 渋谷東邦生命ギャラリー
105	安田清一	川のある街	水彩, 紙	110.0×130.0	第34回蒼騎会展(1994.10.5-10.14) 東京都美術館
●版画					
106	稲葉由子	Portrait	紙, インク	30.0×20.0	The Nessa Cohen Memorial Fund (1994.2.7-2.25) リンカーンセンター ギャラリー The Nessa Cohen Memorial Grant
107	長はるこ	La chatte porte-bon	NECOプリント, ネパール和紙	116.7×80.3	フィナル国際美術展(1994.12.1-12.6) 銀座松坂屋別館カトリアサロン
108	土屋正男	鈴慕韻	型紙版(合羽版), 手漉き楮紙	116.5×83.0	第29回蒼鷺社展(1994.12.13-12.18) 東京都美術館
109	鳥居禎子	May I speak to you ?	リトグラフ	90.0×65.0	
110	船坂芳助	My Space and My Dimension	木版, シルクスクリー ン, 紙	75.0×75.0	日本版画協会展(1994.4.6-4.21) 東京都美術館
111	元藤郁子	暮れる海	シルクスクリーン	44.0×35.0	自由美術協会展(1994.10.16-10.31) 東京都美術館
112	山岸寛子	Buddha	木版	81.5×81.5	
●彫刻・立体					
113	阿部昌義	遠くなる音 -夏-	FRP	170.0×60.0×65.0	第79回二科展(1994.9.1-9.16) 東京都美術館
114	磯田喜子	飛天	桐粉, 粘土	50.0×10.0	'94群炎展(1994.2.13-2.26) 東京都美術館
115	小林達也	出逢いの間に-III-	黒御影石	43.0×46.0×31.0	
116	坂本正治	ルミノス1994-B	色材, ガラス, 蛍光灯	71.0×71.0×10.0	
117	竹村よし子	惑星	ブロンズ, セラミック	40.0×20.0×20.0	竹村よし子展(1994.7.11-7.16) ギャラリー現
118	田中清隆	COCOON	光ファイバー, アクリル 他	70.0×70.0×70.0	
119	玉井 豊	FAVORABLE	綿, 木材, スチール	150.0×100.0×100.0	'TORAY'展示会(1994.10.13-10.18) スペースゼロ(新宿)梅田センタービルクリスタルホー ル(大阪)
120	二ノ宮裕子	白い街	ブロンズ	51.0×13.0×13.5	
●工芸					
121	雨山智子	あざやかな夢の残像(O)	木製パネル, 捺染布	200.0×133.0	第58回新制作展(1994.9.18-10.3) 東京都美術館
122	井高歸山	黄玉磁本窯彩双龍壺	磁器	40.0×40.0×40.0	
123	加藤 清	石橋	和紙, はりえ	175.0×175.0	
124	鴨 康子	白い十字路	革	138.0×72.0×5.0	第33回日本現代工芸美術展(1994.3.26-4.4) 東京都美術館・現代工芸会長賞
125	国光勝子	御朱印船	絹(絹刺)	64.0×74.0	カトリック美術展(1994.5.1-5.7) 有楽町マリオン朝日ギャラリー
126	桑原玲子	友	石塑粘土	30.0×45.0×30.0	
127	小山けい子	作品 I	ガラス	55.0×55.0	

No	作家名	作品名	素材, 技法	寸法 (cm)	展覧会歴
128	小山弘治	色絵花器	白磁	13.0×11.0×10.0	個展(1994.1.16-1.29) 東京セントラル絵画館
129	渋谷美代子	幻花	アクリル, 合板, 屏風	91.0×90.0	写真集「花さまさま」出版記念展示会 (1994.11.1-11.7) 横浜そごう8Fイベントスペース
130	高橋 操	森の泉に棲むという…	陶器	23.0×14.0×13.0 (盤21.0×32.0)	天愈展(1994.10.26-10.31) 紫ギャラリー
131	種田昌子	大地	木性粘土	51.0×21.0×16.0	創作粘土人形二人展(1994.8.28-9.3) ギャラリー-玻璃(銀座)
132	中村きよ	悠久の響	桐	27.5×17.0×15.0	
133	二方秀樹	モーゼの海	銅板	30.0×25.0	美術工芸展(1994.5.15-5.21) 東京交通会館2Fギャラリー
134	町田 忍	マスクーA	皮革	50.0×35.0×10.0	
135	山本伸子	省胎七宝飾篁	銅板, 七宝釉薬	10.3×18.4×9.5	第40回日本伝統工芸展(1993.9.21-1994.2.14) 日本橋三越他
136	渡辺久子	CRUISING IN BLUE 3	ウール	57.0×150.0	渡辺久子タピストリー展(1994.4.11-4.16) 千疋屋ギャラリー
●書					
137	天野白陽	かな(自作短歌)	軸	180.0×60.0	日本女流展(1994.4.21-4.26) 上野の森美術館
138	飯島華窓	良寛のうた	軸	195.0×45.0	第8回関東女流書展(1994.8.13-8.19) 東京都美術館
139	池田少雲	幽居 章應物	屏風2曲	200.0×200.0	書壇院代表作家展(昭和世代)(1994.4.21-4.26) 銀座松坂屋別館カトレヤサロン
140	石田久紘	希望の烽火	額	167.0×85.0	第31回日書美 秀華書展(1994.4.29-5.4) 新宿京王百貨店
141	上松一條	有也無	額	151.0×151.0	第46回毎日書道展(1994.7.8-7.15) 東京都美術館
142	宇田溪香	与謝野晶子の歌	額	182.0×79.0	書道学会展(1994.1.4-1.9) 東京都美術館
143	荻須耕陽	秋日偶成 程明道	額	240.0×60.0	日本書院院展(1994.6.24-6.29) 東京都美術館
144	奥田尚史	伊豫温湯碑	額	142.5×67.5	現代女流書展(1994.2.16-2.21) 東急百貨店本店7階特設会場
145	小野桂甫	桜	軸	197.0×145.0	独立会員展(1994.5.17-5.22) 東京セントラル美術館
146	小原紫琴	春麻布	軸	196.0×35.0	第33回書壇院竹心展(1994.3.22-3.27) セントラル美術館
147	影山房子	螢	額	242.0×61.0	第46回毎日書道展(1994.7.8-7.15) 東京都美術館
148	河村和子	うつろはで	軸	212.0×45.0	東雲展(1994.1.24-1.30) 鳩居堂画廊(銀座)
149	北島菁丘	萩	額	60.0×180.0	第46回書道同文展(1994.6.24-6.29) 東京都美術館
150	木下聖湖	高遠の山	額	240.0×60	
151	栗林松雅	春霞	額	53.0×170.0	第56回謙慎書道展(1994.2.28-3.5) 東京都美術館
152	栗山鳳雪	春雪	額	221.0×40.0	第38回東方書展(1994.7.1-7.7) 東京都美術館
153	首藤佳泉	千字文 日下部鳴鶴 臨	額	228.0×52.0	柳蛙書道展 柳蛙創立30周年記念展 (1994.9.18-9.24) 山梨県立美術館・柳蛙賞
154	鈴木翠石	晚自東郭留一二遊侶	額	243.0×63.0	第43回日本書道院展(1994.6.24-6.29) 東京都美術館
155	関 墨水	書法自然	額	242.0×61.0	第11回産経国際書展(1994.7.30-8.7) サンシャイン文化会館・無鑑査出品
156	田中赤城	漢字四言句(草書体)	軸	200.0×50.0	北城書社展(1994.5.31-6.5) 上野の森美術館
157	田淵観齋	保遐寿(隋書)	扇子	70.0×200.0	木鐸書展(1994.8.5-8.10) 有楽町マリオン朝日ギャラリー
158	田淵祥玉	王維詩	額	223.0×56.0	日書画展(1994.8.19-8.22) 東京都立産業貿易センター
159	丹治思郷	心心	額	138.0×51.0	致一展(思郷書展VI)(1994.3.15-3.20) 鳩居堂画廊(銀座)

No	作家名	作品名	素材, 技法	寸法 (cm)	展覧会歴
160	續木湖山	竹葉觴	額	238.0×80.0	第46回毎日書道展(1994.7.13-7.17) 東京都美術館
161	原嶋竹堂	残された時間を悔いなく送りたい	額	120.0×120.0	新和楳展選抜展(1994.6.13-6.19) 東京芸術劇場ギャラリー
162	深澤芝仙	紅梅	軸	138.0×47.0	'94書藝新潮社書作展(1994.10.11-10.16) 東京セントラル絵画館
163	藤原紫英	寄黄龍清老三首のうちの一首	軸	半折	学書院展(1994.8.6-8.11) 東京都美術館・日本テレビ賞
164	藤原紫水	酬楊供奉法師見招 薛濤	軸	210.0×62.0	学書院代表院人展(1994.1.3-1.7) 学書院銀座ギャラリー・読売新聞社賞
165	堀田小葉	あま小舟	額	60.0×180.0	第46回毎日書道展(1994.7.8-7.11) 東京都美術館
166	持田春翠	星野立子の句	額	150.0×70.0	第8回関東女流書展(1994.8.13-8.19) 東京都美術館
167	森本妙子	夕富士	額	250.0×70.0	第42回独立書展(1994.1.11-1.16) 東京都美術館
168	保浦玉英	白居易 送春	額	127.0×52.5 (2枚, 料紙寸法)	東邦展(1994.1.31-2.5) 東京都美術館
169	安原白水	陶淵明雑詩 人生根帯無	軸	半折	学書院展(1994.8.6-8.11) 東京都美術館
170	渡辺三代子	萬葉のうた	額	178.0×60.0	第14回日本の美 現代女流美術展 (1993.12.1-1994.1.9) 彫刻の森美術館
●篆刻					
171	青木瑞苑	彗星襲月	額	39.0×30.0	第46回毎日書道展(1994.7.13-7.17) 東京都美術館
172	浅香恵堂	無為	木	21.0×51.0×2.0	
173	江澤遙雲	忘己利他	軸	105.0×33.0	読売書法展(1994.8.13-8.19) 東京都美術館・秀逸賞
174	鈴木般山	雲龍風虎	額	39.0×30.0	第26回日展(1994.11.2-11.24) 東京都美術館
175	野田春華	寒華晩節	額	60.0×39.0	第11回読売書法展(1994.8.13-8.18) 東京流通センター展示場
176	服部虚舟	脩己以敬	額	39.0×30.0	第7回淡水会書展(1994.1.9-1.12) 東京都立産業貿易センター
177	山崎方石	惜寸陰	軸	90.0×30.0	第26回日展(1994.11.2-11.24) 東京都美術館

古茂田守介の全貌展—甦った「焼失」作品群を中心に—

会期：1995(平成7)年3月11日—4月9日 (26日間)

会場：展示室A・B・C, 展示ロビー

主催：目黒区美術館, 「古茂田守介展」開催実行委員会, 読売新聞社, 美術館連絡協議会

協賛：花王株式会社

協力：創形美術学校修復研究所, 山領絵画修復工房, 岡崎絵画修復工房

担当学芸員：正木 基

同時開催：サウンドワークショップI 音がみえるとき

巡回スケジュール：1995年1月21日—2月26日 愛媛県立美術館

7月22日—9月3日 伊丹市立美術館

11月3日—12月17日 河口湖美術館

1990年3月, 当館で古茂田守介の没後30年を記念しての回顧展が開催されたが, 1962年の火災によって焼失したと言われていた代表作が構成から欠けていた。それからまもなく, 古茂田家の物置に修復不可能としてしまいこまれ, 巷には焼失したと言われていた代表作24点が発見され, 火災時のダメージを複雑かつ甚大に受けてはいたものの, 全作品が修復可能であることが判明した。それらは, 当館に収蔵され, 1991年から1994年にかけて, 3つの修復工場の共同調査・共同研究に基づき修復された。本展は, その古茂田の修復された代表作を中心に, 彼の軌跡を改めて構成し直し, 本領を再々評価, ひいては戦後具象絵画への寄与を厳密に位置づけようとしたものである。同時に, 希なる修復事例として, 丹念に記録した修復過程のドキュメンテーションを, ビデオ, 写真パネルなどで報告し, 今日の高度な修復技術の一端を紹介する機会を提供した。

●カタログ

寸法：21.0×29.7cm

ページ数：140ページ

内容：ごあいさつ(主催者)／酒壺と枯れ花—古茂田守介の「もの」主義(窪島誠一郎)／図版(作品並びに修復過程)／作品修復報告絵具層と顔料について(宮田順一) カビについて(青島郁子) 古茂田守介“焼失”油彩画作品群の修復(山領まり他)／古茂田守介・存在の探求(増田和朗)／“戦後具象絵画と古茂田守介”の再々評価(正木基)／年譜／古茂田守介執筆原稿再録／参考文献／出品目録

●ポスター

サイズ：B2, B3

●チラシ

サイズ：25.7×18.0cm

●主要関連記事

古茂田守介の全貌展—甦った「焼失」作品群を中心に 古茂田守介の再々評価へ 正木基 新美術新聞 1995年1月21日

古茂田守介の全貌展 大作の大胆な強さ 古茂田三津子 月刊美術 1995年3月号

展覧会 対象の実質とらえた絵画 朝日新聞 1995年3月31日

Exhibition Review 古茂田守介の全貌展 大井健地 BT 1995年5月号

絵物語 古茂田守介 裸婦 正論 1995年6月号



古茂田守介の全貌展

甦った「焼失」絵画群を中心に

1995年3月11日—4月9日 目黒区美術館 目黒区美術館 目黒区美術館 目黒区美術館

B2ポスター



会場風景



会場風景

出品目録

No	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	展覧会歴	所蔵先
1	人物	1937	油彩・キャンバス	53.4×45.5		愛媛県立美術館
2	裸婦(一)*	1940	油彩・キャンバス	91.0×72.5	第5回新制作派展	目黒区美術館
3	妻	1944	油彩・板	45.5×37.5		西条中央病院
4	丘の焼跡	1946	油彩・キャンバス	45.3×52.6		愛媛県立美術館
5	風景	不明	油彩・キャンバス	59.2×72.3		大和屋別荘
6	街の風景	1944	油彩・キャンバス	53.0×45.3		町立久万美術館
7	母子*	1946	油彩・キャンバス	91.5×117.0		目黒区美術館
8	臥せる女*	1946	油彩・キャンバス	91.0×116.5	第10回新制作派展	目黒区美術館
9	踊り子達*	1946	油彩・キャンバス	112.5×146.0	第10回新制作派展	目黒区美術館
10	ヴァレリーナ	不明	油彩・キャンバス	72.5×52.6		愛媛県立美術館
11	少女像	1947	油彩・キャンバス	45.5×37.8		愛媛県立美術館
12	少女	1947	油彩・キャンバス	53.2×41.0		愛媛県立美術館
13	椅子と壺	1948	油彩・キャンバス	33.2×24.3		愛媛県立美術館
14	顔	1948	油彩・キャンバス	45.5×37.7		愛媛県立美術館
15	裸婦	1948	油彩・キャンバス	33.3×45.5		個人
16	座る女*	1948	油彩・キャンバス	117.0×91.0		目黒区美術館
17	踊子と塑像*	1949	油彩・キャンバス	146.0×99.0	第1回読売アンデパンダン展	目黒区美術館
18	工房*	1949	油彩・キャンバス	144.5×155.0	第13回新制作展	目黒区美術館
19	柿の静物	1950	油彩・キャンバス	27.5×41.1		個人
20	三人*	1950	油彩・キャンバス	162.3×130.2	第14回新制作展	目黒区美術館
21	静物	1950年頃	油彩・キャンバス	33.6×53.2		町立久万美術館
22	画架を配した裸婦*	1951	油彩・キャンバス	146.0×97.0	第15回新制作展	目黒区美術館
23	背を向けた裸婦*	1951	油彩・キャンバス	117.0×91.0	第15回新制作展・第3回秀作美術展	目黒区美術館
24	座る裸婦*	1951頃	油彩・キャンバス	91.0×116.5		目黒区美術館
25	犬の頭と壺など	1952	油彩・キャンバス	45.5×53.1		玉川近代美術館
26	裸婦二人*	1952	油彩・キャンバス	112.5×145.5	第16回新制作展・第4回秀作美術展	目黒区美術館
27	裸婦と街*	1952	油彩・キャンバス	112.5×145.5	第16回新制作展	目黒区美術館
28	母子*	1953	油彩・キャンバス	130.0×97.0	第17回新制作展	目黒区美術館
29	二人の裸婦*	1953	油彩・キャンバス	97.0×145.5	第17回新制作展	目黒区美術館
30	柿	不明	油彩・キャンバス	45.5×38.0		愛媛県立美術館
31	静物	1954	油彩・キャンバス	38.0×45.6		愛媛県立美術館
32	裸婦と静物*	1954	油彩・キャンバス	146.0×97.0	第1回現代日本美術展	目黒区美術館
33	横長の静物	1950頃 (1954頃?)	油彩・キャンバス	28.9×88.2		西条中央病院
34	静物(1)	1955	油彩・キャンバス	65.7×91.3	第19回新制作展	愛媛県立美術館
35	静物(2)	1955	油彩・キャンバス	49.6×60.7	第19回新制作展	愛媛県立美術館

No	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	展覧会歴	所蔵先
36	三つの壺	1955	油彩・キャンバス	72.7×61.0	第2回現代日本美術展	愛媛県立美術館
37	静物(壺)	1956	油彩・キャンバス	49.5×59.5	第20回新制作展・美術家会館建設展	目黒区美術館
38	メロンとあけびの実	1957	油彩・キャンバス	45.7×53.3		町立久万美術館
39	静物	1957	油彩・キャンバス	45.5×45.5		愛媛県立美術館
40	静物	不明	油彩・キャンバス	40.3×91.3		愛媛県立美術館
41	裸婦*	1957	油彩・キャンバス	91.0×73.0		目黒区美術館
42	裸婦 A	1957	油彩・キャンバス	116.7×90.9	第21回新制作展	愛知県美術館
43	裸婦 B*	1957	油彩・キャンバス	117.5×91.0	第21回新制作展・第4回日本国際美術展	目黒区美術館
44	静物*	1957	油彩・キャンバス	61.0×80.5		目黒区美術館
45	静物	1958以前	油彩・キャンバス	61.0×41.5		愛媛県立美術館
46	赤い壺	1958頃	油彩・キャンバス	37.2×45.4		愛媛県立美術館
47	黒い魚	1958	油彩・キャンバス	41.2×53.3	第2回安井賞候補新人展	個人
48	カレイ	1958	油彩・キャンバス	24.5×33.4		目黒区美術館
49	木蓮	1958	油彩・キャンバス	46.2×27.9		目黒区美術館
50	裸婦	1958	油彩・キャンバス	53.0×41.5		個人
51	立像と葉*	1958	油彩・キャンバス	146.0×97.5	第3回現代日本美術展	目黒区美術館
52	横たわる裸婦*	1958	油彩・キャンバス	97.5×161.5	第22回新制作展	目黒区美術館
53	カイユウの花*	1957～58頃	油彩・キャンバス	80.5×65.5		目黒区美術館
54	なす	1959	油彩・キャンバス	32.0×41.0		目黒区美術館
55	ピワ	1959	油彩・キャンバス	72.3×60.3		愛媛県立美術館
56	さざえ	1959	油彩・キャンバスボード	38.2×46.7		個人
57	貝殻と裸婦*	1959	油彩・ボード	91.0×182.5	第23回新制作展	目黒区美術館
58	貝殻*	1960	油彩・ボード	73.0×91.0	第3回国際具象派展	目黒区美術館
59	貝の静物(貝殻)	1960	油彩・ボード	72.8×90.2	第4回現代日本美術展	個人
60	赤い風景	1960	油彩・キャンバス	45.5×53.3		個人
61	芦ノ湖	1960	油彩・キャンバス	41.0×53.0		町立久万美術館
62	少女	1938	インク・紙	37.8×28.8		芦田画廊
63	裸婦	不明	インク・紙	38.9×29.4		芦田画廊
64	婦人像	不明	インク・紙	32.1×24.1		愛媛県立美術館
65	手(1)	1943	インク・水彩・紙	26.0×24.0		個人
66	手(2)	1943	インク・紙	26.0×24.0		個人
67	女の顔(婦人像)	1944以前	クレヨン・紙	25.5×18.0		町立久万美術館
68	風景	1946頃	インク・パステル・紙	27.3×36.2		個人
69	ダルマストーブ	1948	インク・墨・紙	37.5×29.8		目黒区美術館
70	バレリーナ	不明	コンテ・水彩・紙	39.0×27.0		愛媛県立美術館
71	青色の裸婦	1950	鉛筆・水彩・紙	27.3×19.2		個人
72	ひまわり	1952	インク・墨・紙	37.0×29.1		目黒区美術館
73	裸婦習作	1952	インク・墨・紙	36.0×25.0		町立久万美術館
74	二人の座る裸婦	不明	インク・墨・紙	14.5×15.4		目黒区美術館
75	裸婦二人	不明	インク・墨・紙	25.2×27.2		個人
76	裸婦	不明	インク・墨・パステル・水彩・紙	40.8×31.4		個人
77	裸婦	1953頃	水彩・鉛筆・紙	30.3×24.6		町立久万美術館
78	裸婦	不明	インク・コンテ・紙	40.9×31.9		玉川近代美術館
79	裸婦	1953以降	インク・墨・水彩・紙	19.8×27.5		町立久万美術館
80	柿	不明	鉛筆・紙	24.7×34.1		愛媛県立美術館
81	静物	1954	モノタイプ・インク・墨・紙	24.7×33.6		個人
82	室内の裸婦	1954頃	インク・墨・紙	32.0×23.5		町立久万美術館
83	食卓の静物	1956頃	インク・水彩・鉛筆・紙	34.3×27.0		町立久万美術館
84	静物	1956頃	インク・墨・紙	27.1×18.9		町立久万美術館
85	鱈の照焼き	1956頃	インク・墨・コンテ・紙	27.0×38.0		町立久万美術館
86	かがむ裸婦(青)	不明	インク・水彩・紙	27.0×22.0		目黒区美術館
87	静物	不明	モノタイプ・インク・水彩・パステル・紙	18.6×26.1		愛媛県立美術館
88	習作	1957	インク・墨・紙	28.9×25.3		町立久万美術館
89	横向きに座る裸婦	不明	鉛筆・紙	36.0×26.5		目黒区美術館
90	薪	1957頃	インク・墨・紙	18.4×23.4		町立久万美術館

No	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	展覧会歴	所蔵先
91	静物	1957~58頃	インク・墨・紙	19.0×32.5		町立久万美術館
92	無題	1957~58頃	インク・墨・コンテ・紙	17.5×17.5		町立久万美術館
93	裸婦	1958	インク・墨・パステル・紙	33.3×24.2		個人
94	魚	不明	鉛筆・コンテ・パステル・紙	32.0×40.9		愛媛県立美術館
95	かわら	不明	インク・パステル・水彩・紙	26.9×37.9		目黒区美術館
96	無題	1958頃	インク・墨・紙	24.0×29.0		町立久万美術館
97	無題	1958頃	インク・水彩・コンテ・紙	23.0×28.9		町立久万美術館
98	裸婦	1959	インク・墨・紙	25.0×23.5		町立久万美術館
99	貝(さざえ)	1959頃	インク・墨・水彩・紙	27.7×37.0		町立久万美術館
100	貝殻(さざえ)と裸婦	1959頃	インク・コンテ・墨・紙	7.8×15.8		町立久万美術館
101	山	1959	鉛筆・墨・紙	25.4×28.8		町立久万美術館
102	箱根風景	1959	インク・墨・水彩・紙	27.0×38.0		町立久万美術館
103	山と湖	1960	パステル・墨・紙	(左)13.5×37.7(右)13.5×37.9		栗の木美術館
104	貝と裸婦	不明	エッチング・紙	16.5×20.2		個人
105	月と古い樹	1958-59頃	エッチング・アクアチント・紙	21.0×17.0		町立久万美術館
106	月と古い樹	1958-59頃	エッチング・アクアチント・紙	20.0×16.0		町立久万美術館
107	月と古い樹	1958-59頃	エッチング・アクアチント・紙	17.5×14.0		町立久万美術館
参考出品	踊り子達	1948	油彩・キャンバス	103.0×183.5	第12回新制作派展	個人
その他	修復ドキュメントビデオ「創形美術学校修復研究所篇」「山嶺絵画修復工房篇」「岡崎絵画修復工房篇」を放映					

II. 教育普及

1. ワークショップ

■手と目の冒険広場

『色の博物誌・赤—神秘の謎解き』

●こどものコース

A. 赤い色の魔術師たち—植物・枝・野菜・土

講師：假屋崎省吾(スペースアーティスト)

日時：8月9日, 10日, 12日, 13日 全4日間

11:00-17:00

参加者数：小学4年生以上中学生 23名

野菜、果物、花などの自然の赤。各自が家から持ってきた空き箱や空き缶などに印刷された人工的な赤。この二つの違いを観察し、赤い色の種類や質感について話し合った。さらに、自然の赤をさがすため、生田緑地公園で土や実など赤いものを採集、フィールドワークを取り入れながら赤の観察を行った。それぞれが集めたものを素材に、生け花のインсталレーション作家のたくみなリードで、枝をベースに赤の空間構成を行った。



●おとなのコース

A. 自然から赤を採る

自然にある草花から赤い色を採取する実習を行った。それぞれのコースでは、素材研究と作家活動を行っている講師を招き、レクチャーと実習を関連させ、自然から採取できる赤の不思議な世界を学習し体験した。

参加者数：一般26名 (part 1, part 2 通し)

part 1：藤ノ木古墳から江戸時代の紅花染め

講師：鈴木孝男(紅花研究所)

日時：8月7日 10:30-4:30

講師の鈴木氏は、古代から伝わる紅花染めの歴史とその技法を研究する第一人者で、幻といわれる紅花染めを行っている。このコースでは、藤ノ木古墳から発見された紅花の花粉の使用とその色、江戸時代に流行した紅染めの実際まで、歴史的な紅花染めのお話と技法を披露していただき、4種類の美しい色が再現された。

part 2：草木から赤を染める

講師：寺村祐子(染織作家)

日時：8月26日, 27日 10:30-16:30

講師の寺村氏は、ウールを素材に植物染色を研究されている織物作家。このコースでは、茜や蘇芳など、知られている赤の原料のほかに、最近の研究から、地苔類やユーカリなどめずらしい材料による赤い色の染色を披露していただき、10種類の色を染色した。会期中は、ワークショップにて講師のこれまでの研究成果のパネル展示も行った。



B. お祭り縁日協奏曲

講師：荒木夏実・榎本寿紀(ワークショップ・スタッフ)

日時：8月16日, 17日, 18日, 19日 全4日間

11:00-17:00

参加者数：小中学生 28名

今回の展示の一つのトピックである晴れの赤をテーマにしたワークショップ。展示を見ながら、日本人に深く関わる晴れの赤の意味を話し合い、グループごとに赤い色にさまざまな意味を託し、それぞれのお祭りを開催した。会場では、お御輿をつくり縁日を開き、晴れの日の舞台を作り、外部の参加を呼び掛けて1日だけのお祭り縁日を楽しんだ。

B. 絵を描くときに考えること—構成と非構成

講師：中村功(美術家)

日時：8月21日, 28日, 9月3日, 4日 全4日間

参加者数：一般 26名

絵を描くとは自分にとってどういうことか。本展出品作家の講師に、絵画について日頃考えている理念を伺い、画面を構成することと、それを別のものに転換することを実習した。期間中には、豊富なスライドでわかりやすく近代から現代までの絵画の歴史を語っていただいた。初めはとまどっていた参加者も、次第に熱心な講師のリードに引き込まれ、それぞれの個性がうかがえる質の高い作品を制作した。



●遊びの広場「リップ・リップ・キッスカード」

スタッフ：本間裕子

協力：美術館ボランティア会

参加者数：13日間 のべ441名

来館者ならだれでも参加できるコースとして開催。はまぐりの内側に塗られた赤い口紅と四角い画用紙を用意し、自由に口紅を塗って紙に写し、思い思いのカードを制作した。幼児から大人、男女を問わず、展示鑑賞後多くの人々が我を忘れて制作に没頭し、カラフルなカードが沢山できあがった。参加者には、一枚だけ口紅スタンプを残してもらい、会期中パネルに貼って展示した。



●レクチャー

A. 日本の赤—染織を中心に

日時：8月14日

講師：長崎巖(東京国立博物館染織室長)

参加者数：70名

特に、日本の染織の歴史において、赤はどのような役割と意味をもっていたかを、豊富なスライドを交えて語っていただいた。

B. 古代オリエント世界の赤をめぐって

講師：大津忠彦(中近東文化センター研究員)

日時：8月20日

参加者数：70名

今回の展示の重要な要素でもある臙脂綿。これは、ケルメスやラク虫、コチニールなどの昆虫から採取する美しい赤で、古代オリエントでも多く使われた。本講では、世界の赤に目を向け、現地発掘調査による貴重な体験談を交えて、古代オリエントで使われていた赤の素材について語っていただいた。

●プレ・ワークショップ 赤

原宿編《私たちの出あった赤の好きな人》

場所：原宿表参道歩行者天国

日時：3月27日 10:30-17:00

銀座編《赤を探して元気よく歩こう》

場所：銀座通り歩行者天国

日時：5月29日 10:30-17:00

渋谷編《赤を探して元気よく歩こう》

場所：渋谷文化村通り歩行者天国

赤の探検隊：スタッフ、参加者(小中学生26名)

夏に開催される『色の博物誌・赤』に先駆け、赤に対する意識を引き出すために、こどもたちと、赤い色がどのように街に存在するかを調査した。グループごとに行動し、ポラロイドカメラで、歩行者が身につけている赤いものなどを撮影し、インタビューを行い記録を取って、夏の展覧会に展示した。こどもたちにとって、見知らぬ人にインタビューしたことが楽しく、新鮮なコミュニケーションの体験となった。

■サウンド・ワークショップ I

音がみえるとき

(同時開催：古茂田守介の全貌展)

A. サウンドウォーク—音のある形

講師：岩井成昭(美術家)

日時：3月11日, 12日, 19日, 26日 全4日間

10:30-16:30

参加者数：一般 19名

協賛：アイワ株式会社, 日本コダック株式会社

人工の音、自然の音、街の中にはさまざまな音の風景がある。そこには、心地良い音ばかりでなく耳障りな騒音もあるが、こうした音をあらためて聞いてみると意外な発見があることに気付く。意識しながら音を探しに街にくりだし、聴診器を道路に当ててみたり、糸電話を複数で行ったり、普段にない音体験を体験した。さらに、カセットテープレコーダーで、それぞれが生活する空間における音を拾い集めて構成し、写真を加えて作品化して発表しあった。日常の音環境も視点を変えると実に楽しい素材になりうることを全員が実感した。



B. リズム&ステンシルー布に表現する音

講師：シャーロット・フジカケ(ステンシルアーティスト)

特別講師：藤掛正邦(グラフィックデザイナー)

日時：3月17日, 18日, 24日, 25日 全4日間

10:30-16:30

参加者数：一般 18名

協賛：バンニーコーポレーション

さまざまな音を視覚化し、そのリズムやイメージをステンシル技法で布に表現した。導入では、楽器や鳴り物など種類の違う音を、墨と筆による自動速記法で描き留めてゆくトレーニングを行った。その後、街にくりだし、各人がそれぞれ音のドラマを紙に記録した。そのイメージの記録をデザイン化し、大きな布に音の形を表していった。雨の日の道路に響く人々の声。ボーリング場のピンのはねる音。自分の心臓の鼓動など。美しくリズムカルな布ができあがった。



C. 関根秀樹の「音の玉手箱」ー竹の響き

講師：関根秀樹

日時：3月30日, 4月1日, 2日, 8日, 9日 全5日間

10:30-16:30

参加者数：小中学生, 一般 30名

縄文時代の楽器や世界の民族楽器の研究をされている関根秀樹氏の貴重なコレクションを皆で演奏したり、東南アジアの民族音楽のCDやビデオを見学して、西洋音楽とは違う音の世界をたのしんだ。郊外の竹藪へ遠足し、自分の手で実際に竹を切ることを体験し、その竹を使ってさまざまな音を創作した。竹ボラ、カッコー笛、ピンジャカン、タイコなど。自分の手から生まれた新しい竹の楽器をグループで演奏し、素敵な演奏会を最後に開催した。





D. わたしは楽器!ー楽しい音に元気くなる

講師：ワークショップ・スタッフ

日時：3月28日, 29日, 4月4日 全3日間 10:30-16:30

参加者数：小中学生32名

手をたたいたり、足を踏み鳴らしたり、口笛を吹いたり、からだを動かして、いろいろな音のリズムと音階を体験した。さらに体に何かを付けたり、巻いたりしながら、自分自身が音を共鳴させる楽器として、グループで身体を十二分に使った演奏会を行った。



E. スライドレクチャー・美術と音

講師：岩井成昭(美術家)

日時：3月21日

参加者数：一般 80名

音をその美術表現にとりこんで制作を続ける岩井氏によるレクチャー。美術の中で、絵画や彫刻、そして現代美術において、音が要素としてどのように美術表現にかかわってきたか、豊富なスライドで最近の研究の成果を語っていただいた。

2. 美術講座

■第2回「私流 美術との親しみ方」

●演題：修復の現場からー高橋由一と佐伯祐三をめぐる

講師：歌田眞介(創形美術学校修復研究所所長)

開催日：3月11日

参加者：35人

●演題：アトリエのメタモルフォーゼー文学から学んだ絵画の方法

講師：司修(画家)

開催日：3月18日

参加者：31人

●演題：もうひとつのアトリエー画家と美術館

講師：千足伸行(成城大学教授)

開催日：3月19日

参加者：34人

●演題：美術館の窓からー人間的画家を求めて

講師：大川栄二(大川美術館館長)

開催日：3月25日

参加者：30人

3. ギャラリーツアー

「手と目の冒険広場 色の博物誌・赤ー神秘的の謎解き展」

開催中に、学芸員の指導により各展示室にわかれてギャラリーツアーを実施した。

開催日：9月6日

参加者：青山学院初等科4年生120人

開催日：9月7日, 8日, 9日

参加者：目黒星美学園4年生115人

開催日：9月14日, 16日

参加者：五本木小学校5, 6年生136人

開催日：9月14日

参加者：目黒区教育会心身障害部門教諭20人

開催日：9月17日

参加者：東京私立初等学校協会 図画工作研究部教諭10人

4. 展覧会関連事業

■手と目の冒険広場

色の博物誌・赤ー神秘的の謎解き展

●講演会<日本の赤ー染織を中心に>

講師：長崎巖(東京国立博物館染織室長)

開催日：8月14日

参加者：90人

●講演会<古代オリエント世界の赤をめぐる>

講師：大津忠彦(中近東文化センター研究員)

開催日：8月20日

参加者：80人

■ガラス・アートの探究と創造

ーシルヴァに集うアーティストたち展

●スライドレクチャー講演会<シルヴァの活動について>

講師：フランソワーズ・ギション(シルヴァ・ディレクター)

開催日：10月22日

参加者：100人

Ⅲ. 入館状況

展覧会名	会期	開催日数 (日)	入館者数(人)		会場	備考
			総数	1日平均		
めぐろの美術史展 —洋画・版画乃巻—	6年3月12日～ 4月10日	9 (6年度分)	820 (6年度分)	91 (6年度分)	A, B, C, L	全期間26日 2,171人
①フランク・シャーマンと戦後の日 本人画家・文化人たち ②パリの日本人画家たち—1920年 代を中心に ③所蔵作品展「レオナール・フジタ」	6年4月20日～ 5月29日	35	5,050	144	A, B, C, L, W, E	
伊原宇三郎展	6年6月4日～ 7月10日	32	4,111	128	A, B, C, L, W	
色の博物誌・赤 —神秘の謎解き展	6年8月6日～ 9月18日	38	9,515	250	A, B, C, L, W, E	
区民作品展	6年10月4日～ 10月10日	7	1,806	258	A, B, C, L, W, E, G	
ガラス・アートの探究と創造 —シルヴァに集うアーティストたち展	6年10月22日～ 11月27日	32	6,786	212	A, B, C, L, W, E	
追悼・野村昭嘉展 戦後児童画の一断面展 所蔵作品展	6年12月10日～ 7年1月16日	26	3,536	136	A, B, C, L, W, E	
めぐろの子どもたち展	7年1月21日～ 2月5日	14	7,276	520	A, B, C, L, W, E	
目黒区の美術・書 —1994—	7年2月11日～ 3月5日	20	2,536	127	A, B, C, L, W, E, G	
古茂田守介の全貌展 サウンドワークショップ I	7年3月11日～ 4月9日	18 (6年度分)	2,747 (6年度分)	153 (6年度分)	A, B, C, L	全期間26日 5,130人
合計		231	44,183	191		

注 A=展示室A, B=展示室B, C=展示室C, L=展示ロビー, W=ワークショップ室, E=エントランスホール, G=区民ギャラリー

IV. 作品収集

●目黒区美術館資料収集基本方針

目黒区美術館資料の収集については、優れた美術作品(以下「作品」という。)と、その理解を深めるうえで補助的な役割を果たし得る資料(以下「補助資料」という。)を、次の項目により計画的に収集する。

記

1. 近代から現代に至るわが国の美術の流れを体系的に理解するうえで有益な作品
2. 作品の成立する過程、素材および技術と表現の関係を理解するうえで有益な作品および補助資料
3. その他、目黒区美術館の所蔵品としてふさわしい作品および補助資料

収集対象

作 品 平面(洋画, 日本画, 素描, 版画, 書など)

立体(彫刻, 工芸など)

映像(写真, 映画, ビデオなど)

補助資料 素材・工程・技法などに関わる補助資料

作品制作に関わる書簡, 日記など

上記収集に関わる文献

●収蔵作品件数

年 度	平 面	立 体	映 像	工 芸	コレクション	計
昭和56～平成5	552	15	10	12	1	590
平成6	9					9
計	561	15	10	12	1	599

平成6年度 収集作品一覧

○購入作品

作家名	作 品 名	制作年	寸 法(cm)	素 材	摘要
岡田謙三	花売り	1936年	65.2×50.1	油彩・キャンバス	
岡田謙三	セーヌ河	1936年	46.0×61.0	油彩・キャンバス	
武内鶴之助	風景	1908年以前	49.0×30.5	水彩・紙	
武内鶴之助	稲妻	制作年不明	28.0×38.5	パステル・紙	
阿部展也	作品1, WHITE SCRIPT(D)	1960年	121.0×181.5	エンコスティック・板	
阿部展也	SCRITTURA in BIANCO	1963年	145.5×114.0	エンコスティック・板	
合 計				3作家 6件	

○寄贈作品

作家名	作 品 名	制作年	寸 法(cm)	素 材	摘要
井手宣通	冬のモンパルナス通	1955年	46.2×55.3	油彩・キャンバス	
合 計				1作家 1件	

V. 作品等貸出

○作品貸出

作品名	作者	期間	貸出先	展覧会名
自画像	鹿子木孟郎	6.4.9～ 6.6.7	西宮市大谷記念美術館	百年前の表現展
雪景	里見勝蔵	6.7.～ 6.9.8	北海道立三岸好太郎美術館	黄色い鋼鉄船－三岸好太郎と独立展 創立の画家たち展
女	里見勝蔵	6.7.～ 6.9.8	北海道立三岸好太郎美術館	黄色い鋼鉄船－三岸好太郎と独立展 創立の画家たち展
少年青帽	高島達四郎	6.7.～ 6.9.8	北海道立三岸好太郎美術館	黄色い鋼鉄船－三岸好太郎と独立展 創立の画家たち展
食卓	高島達四郎	6.7.～ 6.9.8	北海道立三岸好太郎美術館	黄色い鋼鉄船－三岸好太郎と独立展 創立の画家たち展
記憶の独立	工藤哲巳	6.9.16～ 7.2.15	国立国際美術館	特別展 工藤哲巳回顧展
信号台	岡鹿之助	6.5.30～ 6.7.26	芦屋市立美術博物館	知られざる画家上山二郎とその周辺 展
静物	板東敏雄	6.5.30～ 6.7.26	芦屋市立美術博物館	知られざる画家上山二郎とその周辺 展
男半身習作 I	川村清雄	6.8.1～ 9.30	静岡県立美術館	川村清雄展：静岡の美術VII
男半身習作 II	川村清雄	6.8.1～ 6.9.30	静岡県立美術館	川村清雄展：静岡の美術VII
幼児石膏習作	川村清雄	6.8.1～ 6.9.30	静岡県立美術館	川村清雄展：静岡の美術VII
水差し	川村清雄	6.8.1～ 6.9.30	静岡県立美術館	川村清雄展：静岡の美術VII
巴里の屋根	山口薫	6.9.1～ 6.10.31	練馬区立美術館	山口薫展
パリ アレジアの教会	山口薫	6.9.1～ 6.10.31	練馬区立美術館	山口薫展
風景	山口薫	6.9.1～ 6.10.31	練馬区立美術館	山口薫展
少年青帽	高島達四郎	6.9.9～ 6.10.19	岡山県立美術館	1920年代－パリの日本人画家展
静物	国松桂溪	6.9.9～ 6.10.19	岡山県立美術館	1920年代－パリの日本人画家展
婦人	国松桂溪	6.9.9～ 6.10.19	岡山県立美術館	1920年代－パリの日本人画家展
浴室の二人の女	坂田一男	6.9.9～ 6.10.19	岡山県立美術館	1920年代－パリの日本人画家展
ブルターニュの女	中村義夫	6.9.9～ 6.10.19	岡山県立美術館	1920年代－パリの日本人画家展
眼鏡の婦人	中村義夫	6.9.9～ 6.10.19	岡山県立美術館	1920年代－パリの日本人画家展

作品名	作者	期間	貸出先	展覧会名
赤毛の女	藤田嗣治	6.9.9～ 6.10.19	岡山県立美術館	1920年代～バリの日本人画家展
動物群	藤田嗣治	6.9.9～ 6.10.19	岡山県立美術館	1920年代～バリの日本人画家展
鶴	藤田嗣治	6.9.9～ 6.10.19	岡山県立美術館	1920年代～バリの日本人画家展
雪景	里見勝蔵	6.9.9～ 6.10.19	岡山県立美術館	1920年代～バリの日本人画家展
婦人	鈴木千久馬	6.9.1～ 6.11.30	青梅市立美術館	昭和洋画の先達たち－1930年協会回顧
女	里見勝蔵	6.9.1～ 6.11.30	青梅市立美術館	昭和洋画の先達たち－1930年協会回顧
新緑	今井俊満	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アドベンチャー 冒険美術展
ゴルジュ・ド・ルー	村井正誠	6.12.10～ 7.8.20	大原美術館 神奈川県立近代美術館 岐阜県美術館 富山県立近代美術館 和歌山県立近代美術館 東京新聞事業局	村井正誠展
ゴルフジュアンの船	村井正誠	6.12.10～ 7.8.20	大原美術館 神奈川県立近代美術館 岐阜県美術館 富山県立近代美術館 和歌山県立近代美術館 東京新聞事業局	村井正誠展
アラブの店	村井正誠	6.12.10～ 7.8.20	大原美術館 神奈川県立近代美術館 岐阜県美術館 富山県立近代美術館 和歌山県立近代美術館 東京新聞事業局	村井正誠展
裸婦(一)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌－甦った「焼失」作品群を中心に
母子(1946)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌－甦った「焼失」作品群を中心に
臥せる女	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌－甦った「焼失」作品群を中心に
踊り子達	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌－甦った「焼失」作品群を中心に
座る女	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌－甦った「焼失」作品群を中心に
踊子と塑像	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌－甦った「焼失」作品群を中心に
工房	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌－甦った「焼失」作品群を中心に

作品名	作者	期間	貸出先	展覧会名
三人	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
画架を配した裸婦	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
背を向けた裸婦	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
座る裸婦	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
裸婦二人	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
裸婦と街	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
母子(1953)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
二人の裸婦	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
裸婦と静物	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
静物(壺)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
裸婦	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
裸婦 B	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
静物	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
カレイ(M59)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
木蓮(M57)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
立像と葉	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
横たわる裸婦	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
カイユウの花	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
なす	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
貝殻と裸婦	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
貝殻	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
ダルマストーブ(M92)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に

作 品 名	作 者	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名
ひまわり(M156)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
横向きに座る裸婦(M113)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
かがむ裸婦(青)(M120)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
二人の座る裸婦	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
かわら(M162)	古茂田守介	7.1.5～ 7.12.25	「古茂田守介展」開催実行委員会	古茂田守介の全貌-甦った「焼失」作品群を中心に
ピープルズ・ガーデン	川俣正	7.3.15	日本放送協会番組制作局文化番組部	「土曜美の朝～アトリエは現場：川俣正～」番組撮影
蹄	海老原喜之助	7.3.22～ 7.5.16	三重県立美術館	動物美術館
鳥たちの壁 B	下村良之介	7.3.22～ 7.5.16	三重県立美術館	動物美術館

○教育普及用教材貸出

教材名	期間	貸出先	展覧会名
BOX 1 画材の引き出し博物館 1 天然顔料(天平の色-日本画)	6.4.15~ 6.6.30	板橋区立郷土資料館	板橋の絵図・絵地図
BOX 1 画材の引き出し博物館 2 天然顔料(現代の天然岩絵具-日本画)	6.4.15~ 6.6.30	板橋区立郷土資料館	板橋の絵図・絵地図
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 5 日本の手すき紙-こうぞ紙	6.4.15~ 6.5.28	板橋区立郷土資料館	板橋の絵図・絵地図
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 6 日本の手すき紙-みつまた紙	6.4.15~ 6.5.28	板橋区立郷土資料館	板橋の絵図・絵地図
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 7 日本の手すき紙-がんび紙	6.4.15~ 6.5.28	板橋区立郷土資料館	板橋の絵図・絵地図
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 1 紙以前-パピルス・バイラン	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 2 紙以前-パーチメント(羊皮紙)	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 3 紙以前-アマテ紙	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 4 紙以前-タパ	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 5 日本の手すき紙-こうぞ紙	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 6 日本の手すき紙-みつまた紙	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 7 日本の手すき紙-がんび紙	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 8 世界の手すき紙-中国	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 9 世界の手すき紙-韓国	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 10 世界の手すき紙-ネパール・インド	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 11 世界の手すき紙-イタリア	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 12 世界の手すき紙-フランス	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 13 機械すき紙-洋紙の原料	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 14 機械すき紙-型押し	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 15 紙の表情-すき込み	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 16 紙の表情-透かし	6.6.1~ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」

教材名	期間	貸出先	展覧会名
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 17 紙の表情-和紙の形 1	6.6.1～ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 18 紙の表情-和紙の形 2	6.6.1～ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 19 紙の表情-洋紙の形 1	6.6.1～ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 3 素材の引き出し博物館-紙 20 紙の表情-洋紙の形 2	6.6.1～ 6.7.20	富山県こどもみらい館	造形発見広場「紙の引き出し博物館」
BOX 1 画材の引き出し博物館 6 練り剤による色味の違い	6.6.8～ 6.7.20	世田谷美術館	世田谷美術館年間講座「美術講座」
BOX 1 画材の引き出し博物館 24 支持体「フレスコ画」	6.6.8～ 6.7.20	世田谷美術館	世田谷美術館年間講座「美術講座」
BOX 1 画材の引き出し博物館 25 支持体「テンペラ画」	6.6.8～ 6.7.20	世田谷美術館	世田谷美術館年間講座「美術講座」
TOPS(16mmフィルム) 作者名/Charles & Ray EAMES	6.5.31～ 6.6.7	社団法人日本グラフィックデザイナー協会	年次大会 [JAGDA IN YOKOHAMA 1994]
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 1 木の表情-日本の木	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 2 木の表情-世界の木	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 3 木の表情-時の刻印1	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 4 木の表情-時の刻印2	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 5 木からモノへ-木からとれる色	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 6 木からモノへ-樹皮	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 7 木からモノへ-木肌と仕上げ	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 8 木からモノへ-繊維特性	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 9 木からモノへ-食	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 10 木のモノへ-遊	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 11 さわれる木-さまざまな木	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 12 さわれる木-不思議な木の玉	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 13 さわれる木-樹皮のついた木片	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展

教材名	期間	貸出先	展覧会名
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 14 さわれる木-木椀の工程	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 15 さわれる木-ツゲ櫛の工程	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 16 さわれる木-キリ下駄の工程	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
収納ボックス	6.11.8～ 6.12.28	滋賀県立近代美術館	アートベンチャー冒険美術展
「予兆<光>」(スライド榎倉康二作)	6.9.16～ 7.1.31	斎藤記念川口現代美術館	榎倉康二・写真のしごと 1972～1994 展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 1 木の表情-日本の木	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 2 木の表情-世界の木	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 3 木の表情-時の刻印 1	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 4 木の表情-時の刻印 2	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 5 木からモノへ-木からとれる	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 6 木からモノへ-樹皮	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 7 木からモノへ-木肌と仕上げ	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 8 木からモノへ-繊維特性	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 12 さわれる木-不思議な木の玉	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 14 さわれる木-木椀の工程	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展
BOX 2 素材の引き出し博物館-木 16 さわれる木-キリ下駄の工程	7.2.23～ 7.5.12	横浜こども科学館	ウッディサイエンス展

VI. 刊行

1. 目黒区美術館年報 平成5年度

発行：1995年3月1日

サイズ：A4

ページ数：80頁

2. 目黒区美術館概要パンフレット

発行：1995年3月1日

サイズ：A4

ページ数：16頁



年報平成5年度版



概要パンフレット

VII. 区民ギャラリー

展覧会名	期間	延日数	主催者	入場者数
Mescaline Parade	6.4.5～6.4.10	6	和野哲也	50
シルクスクリーンプリントエキシビジョン	6.4.5～6.4.10	6	綾井亜希子	190
TOKKO	6.4.12～6.4.17	6	中野郁子	60
Individual of textile	6.4.20～6.4.24	5	西谷美香	170
鈴木俊夫展	6.4.19～6.4.24	6	鈴木俊夫	180
大研究室展	6.4.26～6.5.1	6	石橋剣	200
大学生の連休展	6.5.3～6.5.8	6	小林浩康	430
HALF EXHIBITION II	6.5.10～6.5.15	6	五十嵐友紀	222
碑文谷彫虹の会作品展	6.5.18～6.5.22	5	虹の会 市邨富士子	450
緑が丘写真クラブ第4回作品展	6.5.18～6.5.22	5	緑が丘写真クラブ 木下信一	400
草木染めに依る染織手織作品展	6.5.25～6.5.29	5	加藤秀峰	660
いけばな「花結」池坊緑葉式展	6.6.4～6.6.5	2	篠塚春尚	500
目黒イーゼル会・水耀会合同展	6.6.7～6.6.12	6	目黒イーゼル会・水耀会	500
手織作品展	6.6.15～6.6.19	5	酒井ひろ子	250
林秋杏墨彩個展	6.6.14～6.6.19	6	林秋杏	200
グループ展“発熱”	6.6.21～6.6.26	6	海津和佳子	150
欣成会・久根会書画展	6.6.28～6.7.3	6	欣成会・久根会 清水和加子	820
クロッキーと油彩展	6.7.5～6.7.10	6	クロッキーの会 三堀和男	400
翠・粹・酔展	6.7.13～6.7.17	5	片桐利朗	160
7 Colors グループ展	6.7.19～6.7.24	6	山田正子	150
宇宙たまご展	6.7.19～6.7.24	6	梅山佳代	200
油画学生六人による作品展	6.7.26～6.7.31	6	中村百合子	300
第37回「明日への手」児童美術展	6.8.4～6.8.7	4	芸術による教育の会 寺尾憲	1,991
第9回らゆう展	6.8.10～6.8.14	5	らゆう会 天野政雄	350
目黒区美術家協会展	6.8.16～6.8.21	6	目黒区美術家協会 天野政雄	350
MALD' HOMME(マ・デ・オム展)	6.8.24～6.8.28	5	磯島泰三	150
五洋会日本画展	6.8.30～6.9.4	6	五洋会 町田匡子	330
吉村格与と17人の仲間達 アメリカン・パッチワーク・キルト展	6.8.31～6.9.4	5	吉村格与	450
SETTEMBRE	6.9.6～6.9.11	6	植田郁子	302
NUMBER 2 EXHIBITION	6.9.6～6.9.11	6	佐藤千佳子	300
3 DAYS ART EXHIBITION	6.9.13～6.9.15	3	辻村和美	200

展 覧 会 名	期 間	延日数	主 催 者	入 場 者 数
第24回あお展	6.9.13～6.9.15	3	染芸青年部 小倉悟	200
第29回目黒区文化祭「自主グループ発表会」	6.9.17～6.9.18	2	目黒区自主グループ連合会	440
第16回もくめ展 ベルギー・日本版画交流展	6.9.20～6.9.25	6	目黒区国際交流協会 もくめ会	670
キャッピング展	6.9.27～6.10.1	5	小出英夫	300
第18回区民まつり区民作品展	6.10.4～6.10.10	7	区民まつり実行委員会	1,806
エジプト現代美術展	6.10.12～6.10.16	5	目黒区国際交流協会 エジプト大使館	148
第4回勤労者美術展	6.10.22～6.10.29	7	目黒区 目黒区勤労福祉会館	593
まんさくの会	6.11.1～6.11.6	6	清水徳雄	200
第10回駒画会展	6.11.9～6.11.13	5	駒場東邦中高等学校PTA 駒画会	383
夢の時	6.11.8～6.11.13	6	鈴木範裕	50
S69	6.11.15～6.11.17	3	高平真帆	97
1994 MIKIO MORITO EXHIBITION [TURKISH BLUE]	6.11.15～6.11.17	3	森戸幹夫	50
第29回目黒区文化祭「花道茶道展覧会」	6.11.19～6.11.20	2	目黒区 花道茶道振興会	122
第29回目黒区文化祭「第37回ユネスコ美術展」	6.11.23～6.11.27	5	目黒区 目黒区ユネスコ協会	465
第9回バスケットリ－展－テーマ・時間－	6.11.30～6.12.4	5	影山照子	126
121大作戦	6.11.30～6.12.4	6	藤田瑞穂	121
放列	6.12.6～6.12.11	6	芳永彩香	200
UNO展	6.12.13～6.12.18	6	山下英子	120
絵画の五人展	6.12.13～6.12.18	6	広岡茂樹	112
ニュートラー-I don't wanna be better-	6.12.20～6.12.25	6	藪下和彦	150
餅展	7.1.5～6.1.8	4	久世直行	250
依風都景工流々展(イフウトケイクルルテン)	7.1.5～6.1.8	4	吉村真穂	70
鳥源谷-日本画三人展-	7.1.10～6.1.16	7	源由紀子	130
Si	7.1.10～6.1.16	7	根本雅行	80
中国北京市崇文区児童・生徒書画作品展	7.1.21～6.2.5	16	目黒区教育委員会指導室	2,205
緑が丘パステル画同好会展	7.3.7～6.3.12	6	林清一	441
第五回東京きりえ美術会会員展	7.3.7～6.3.12	6	堀江安子	630
EXHIBITION 1995	7.3.14～6.3.19	6	飯田哲昭	238
なずな展	7.3.21～6.3.26	6	根木山和子	300
意志をもった空間	7.3.28～6.4.2	6	大島正彦	150
合 計		336		21,912

VIII. ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきた。美術館としてもそのような要望に応え、また住民ニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくため、ボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ(喫茶コーナー)運営、ワークショップ活動補助等を行うことを中心に、幅広い活動の展開を目指している。

1. 参加者 58名

2. 活動内容

(1)ラウンジ運営

活動時間：午後0時30分から4時30分まで

(ラウンジ営業時間は午後1時から4時まで)

当 番：原則として平日2名、土・日各3名

(2)ワークショップ講座アシスタント

ワークショップ・手と目の冒険広場『色の博物誌・赤ー神秘の謎解き』

*どなたでもワークショップ・遊びの広場

「遊びの広場・リップ・リップ・キッスカード」

内容：唇に赤い口紅をつけてカードに写した後、色々な線や模様を描き込んでカードを作成した。

日時：8月6・11・14・23・25・30・31

9月2・9・10・11・15・16・17・18

全15日

参加ボランティア数：9名(延べ26名)

(3)研修講座の受講および自己研修(年間活動記録参照)

(4)その他

懇親会実施

3. 年間活動記録

平成6年5月14日 懇親会

展覧会鑑賞会

「フランク・シャーマンと戦後の日本人画家・

文化人たち」

解説：矢内みどり(学芸員)

6月16, 18日 展覧会鑑賞会

「伊原宇三郎展ー生涯百年を記念してー」

解説：山田敦雄(学芸員)

7月21, 23日 ワークショップ講座「遊びの広場・リップ・リップ・キッスカード」練習会

8月24日 ボランティア・バス・ツアー

参加者：18名

見学先：川村記念美術館, 幕張北沢美術館

9月3日 展覧会鑑賞会

手と目の冒険広場『色の博物誌・赤ー神秘の謎解き』

解説：降旗千賀子(学芸員)

10月ー12月 曜日班による美術館見学会

参加者：6班40名

11月19日 展覧会鑑賞会

「ガラス・アートの探求と創造ーシルヴァに集うアーティストたち」

アーティストたち

解説：矢内みどり

IX. 名簿

(1)財団法人目黒区芸術文化振興財団理事・監事

(順不同,平成7年3月31日現在)

役職	氏名	備考
理事	田中 立久	目黒区助役
〃	平尾 眞	目黒区教育委員会教育長
〃	中島 巖	(財)目黒区芸術文化振興財団事務局長
〃	加藤 玲子	目黒ユネスコ協会
〃	望月千世子	弁護士
〃	大塩 晃雄	目黒区教育委員会社会教育部長
〃	加藤 貞雄	目黒区美術館長
監事	松田 幸夫	目黒区工業団体連合会会長
〃	石田 寛治	目黒区収入役

(2)財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員

(順不同,平成7年3月31日現在)

役職	氏名	備考
評議員	二ノ宮啓吉	目黒区議会議員
〃	中沢 信平	目黒区議会議員
〃	石橋 佳子	目黒区議会議員
〃	木村 洋子	目黒区議会議員
〃	渡部 弘	目黒区議会議員
〃	和田 敏	目黒区議会議員
〃	芳賀 力	元目黒区教育委員
〃	岩内 豊誠	目黒区立第十一中学校長
〃	平島 明	目黒区立菅刈小学校長
〃	深美 成男	都立芸術高等学校長
〃	赤穴 宏	洋画家
〃	岩壁富士夫	日本画家
〃	續木 敏郎	書作家
〃	安原 喜孝	陶芸家
〃	松本 金光	目黒区子ども会連合会会長
〃	山下 愛子	目黒区婦人団体連合会会長
〃	谷田 泰司	住区住民会議連絡協議会
〃	藤間勘織保	目黒区文化団体連合会副会長
〃	中村 春男	連合目黒地区協議会議長

(3)目黒区美術館資料収集委員会

(順不同,平成7年3月31日現在)

役職	氏名	備考
委員長	三木 多聞	徳島県立近代美術館長
委員	桑原 住雄	武蔵野美術大学教授
〃	細野 正信	山種総合研究所美術館開設準備室長
〃	長谷部満彦	福島県立美術館長
〃	真室 佳武	東京都美術館副館長

X. 施設

●工事概要

建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号

地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種高度地区

敷地面積：2,033.53m²

建ぺい率：66.45%

容積率：199.61%

構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造

地上3階・地下1階

建物高さ：17.89m

延床面積：4,059.21m²

構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

その他：外壁花崗岩貼りジェットバーナー仕上げ(乾式工法)

工期：着工昭和60年12月2日

竣工昭和62年3月31日

設計・監理：株式会社日本設計事務所

建築：株式会社竹中工務店東京本店

空調設備：株式会社朝日工業社本店

衛生設備：足立工業株式会社東京支店

電気設備：中国電気工事株式会社東京支店

昇降機設備：横浜エレベーター株式会社

●面積表

展示・教育普及

展示室 A：319.10m²

展示室 B：170.46m²

展示室 C：65.80m²

展示ロビー：44.80m²

ワークショップ：148.47m²

廊下・階段・その他：203.17m²

小計：951.8m²

区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53m²

控室：14.5m²

区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82m²

小計：592.85m²

研究調査

資料室：102.79m²

修復室：46.09m²

小計：148.88m²

収蔵

収蔵庫 A：408.36m²

収蔵庫 B：53.85m²

前室：48.53m²

荷解室：62.58m²

搬出入口：56.57m²

展示用具室：73.40m²

エレベーター・倉庫・その他：229.63m²

小計：932.92m²

管理

事務室：58.05m²

館長室：32.47m²

理事長室：24.58m²

中央管理室：20.64m²

休養室：24.29m²

ワークショップ準備室：31.36m²

映像準備室：14.40m²

廊下・階段・その他：178.18m²

小計：383.97m²

ホール等

エントランス：169.85m²

ラウンジ：55.84m²

ベビーコーナー：5.27m²

廊下・その他：343.58m²

小計：574.54m²

機械室等

機械室：277.14m²

電気室：67.59m²

エレベーター機械室・自家発電気室・その他：129.52m²

小計：474.25m²

合計：4,059.21m²

XI. 沿革

- 昭和45年 長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定
- 昭和54年 7月 長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定
12月 美術館開設準備室設置
- 昭和55年 3月 目黒区美術博物館建設検討委員会設置
4月 「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行
- 昭和56年 1月 目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」
3月 目黒区美術博物館建設専門委員設置
4月 目黒区美術博物館(仮称)設置の方針策定
11月 目黒区立美術館(仮称)資料収集委員会要綱を制定
- 昭和57年 2月 博物館併設構想から美術館単独構想へ変更
3月 第一回資料収集委員会開催—資料収集を開始
10月 区制施行50周年記念事業に位置づけ
- 昭和59年 2月 目黒区美術館(仮称)基本構想策定(58年6月策定開始)
10月 目黒区美術館(仮称)基本設計策定
- 昭和60年 3月 目黒区美術館(仮称)実施設計策定
6月 目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置
8月 目黒区美術館開設準備顧問就任
目黒区美術館マーク制作
11月 「プレビュー・目黒区美術館」展開催(11/12-11/17)
12月 目黒区美術館(仮称)新築工事起工式(12/12)
- 昭和61年 7月 美術館管理運営の財団委託方針決定
9月 「プレビュー・目黒区美術館2」展開催(9/9-9/15)
12月 目黒区美術館(仮称)新築工事定礎式(12/5)
- 昭和62年 3月 「目黒区美術館条例」公布
4月 目黒区美術館新築工事落成式(4/14)
10月 財団法人目黒区芸術文化振興財団設立(10/1)
11月 目黒区美術館開館(11/15)

XII. 案内

観覧時間:10:00a.m.—6:00p.m.

(ただし入館は5:30p.m.まで)

休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始

観覧料:展覧会ごとにその都度定める。



交通案内:

- JR山手線目黒駅(西口), 東急目蒲線目黒駅より徒歩10分
- バス, 渋谷駅より東急 渋41-大井町駅行, 田道小学校入口下車3分
目黒駅より東急, 都営

黒01-大岡山小学校行/
黒02-二子玉川園行/
黒06-三軒茶屋行/
恵73-弦巻営業所行/
東98-等々力操車場行/

—権之助坂下車3分

平成6年度

目黒区美術館年報

1996年3月31日発行

編集・発行—目黒区美術館

〒153 東京都目黒区目黒2-4-36

Tel. 03-3714-1201(代)

制作——キャラクター